

ふじみ野市の教育

令和6年度

ふじみ野市教育委員会

目 次

I	教育行財政	
1	教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	歴代教育委員及び教育長・・・・・・・・	2
3	教育委員会組織図・・・・・・・・	3
4	事務局及び教育機関の事務分掌・・・・・・・・	4
II	第2期教育振興基本計画（概要）・・・・・・・・	6
III	令和6年度教育方針	
1	教育振興基本計画アクションプランの体系・・・・・・・・	9
2	教育費予算・・・・・・・・	11
IV	学校教育・生涯学習	
1	確かな学力と自立する力の育成・・・・・・・・	12
2	絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進・・・・・・・・	22
3	温もりある人と地域を育む学びの推進・・・・・・・・	25
V	学校紹介	
1	小学校・・・・・・・・	35
2	中学校・・・・・・・・	42
	～児童・生徒数の推移～・・・・・・・・	45
VI	社会教育施設紹介	
1	図書館・・・・・・・・	46
2	公民館・・・・・・・・	48
3	資料館・・・・・・・・	49
資料	教育施設案内図	

あったかな絆で育む『共育』をめざして

ふじみ野市では、「ふじみ野市将来都市構想 from2018to2030」において、将来の都市像を「人がつながる豊かで住み続けたいまちふじみ野」と定め、心豊かなまちをつくり、何世代にもわたって住み続けたいと思うことのできるまちを目指しております。

これを実現するため、教育委員会では、令和2年度からの「第2期ふじみ野市教育振興基本計画」において、「あったかな絆で育む『共育』を目指して」を基本理念として、7つの施策を推進しています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症も感染症法の5類感染症に変更され、学校行事や社会教育事業なども、コロナ禍以後の「新しい生活様式」などを踏まえながら、これまでの日常を取り戻し始めてきています。

コロナ禍を経て、改めて実感した人との結び付きの大切さなどを今後の事業に活かしながら、新たなツールとしてオンライン配信などのICTの活用も行いました。また、子供と大人が共に学びあい、その学びの成果が次の学びへとつながる好循環を生む『共育』という考え方のもと、市長部局との連携を図りながら、ふじみ野市版コミュニティ・スクール「地域協働学校」を推進していきました。

引き続き、計画最終年度である令和6年度までの目標達成を目指して、「ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン」により事業を推進していきます。

本冊子「ふじみ野市の教育」は、本市における令和5年度の教育行政の実績と令和6年度に実施する教育行政の概要についてまとめたものです。

将来を展望した積極的な教育行政を推進してまいりますので、皆様の温かい御理解と御協力をお願い申し上げます。

ふじみ野市教育委員会



ふじみ野市 PR 大使『ふじみん』

1 教育委員



教 育 長
朝 倉 孝



教育長職務代理者
富 田 信太郎



委 員
茂 井 万里絵



委 員
西 山 幸 吉



委 員
吉 野 榮

職 名	氏 名	現 在 の 任 期
教 育 長	朝 倉 孝	令和3年4月1日 ~ 令和9年3月31日
教育長職務代理者	富 田 信太郎	令和2年12月12日 ~ 令和6年12月11日
委 員	茂 井 万里絵	令和5年5月22日 ~ 令和9年5月21日
委 員	西 山 幸 吉	令和4年3月19日 ~ 令和8年3月18日
委 員	吉 野 榮	令和4年11月25日 ~ 令和8年11月24日

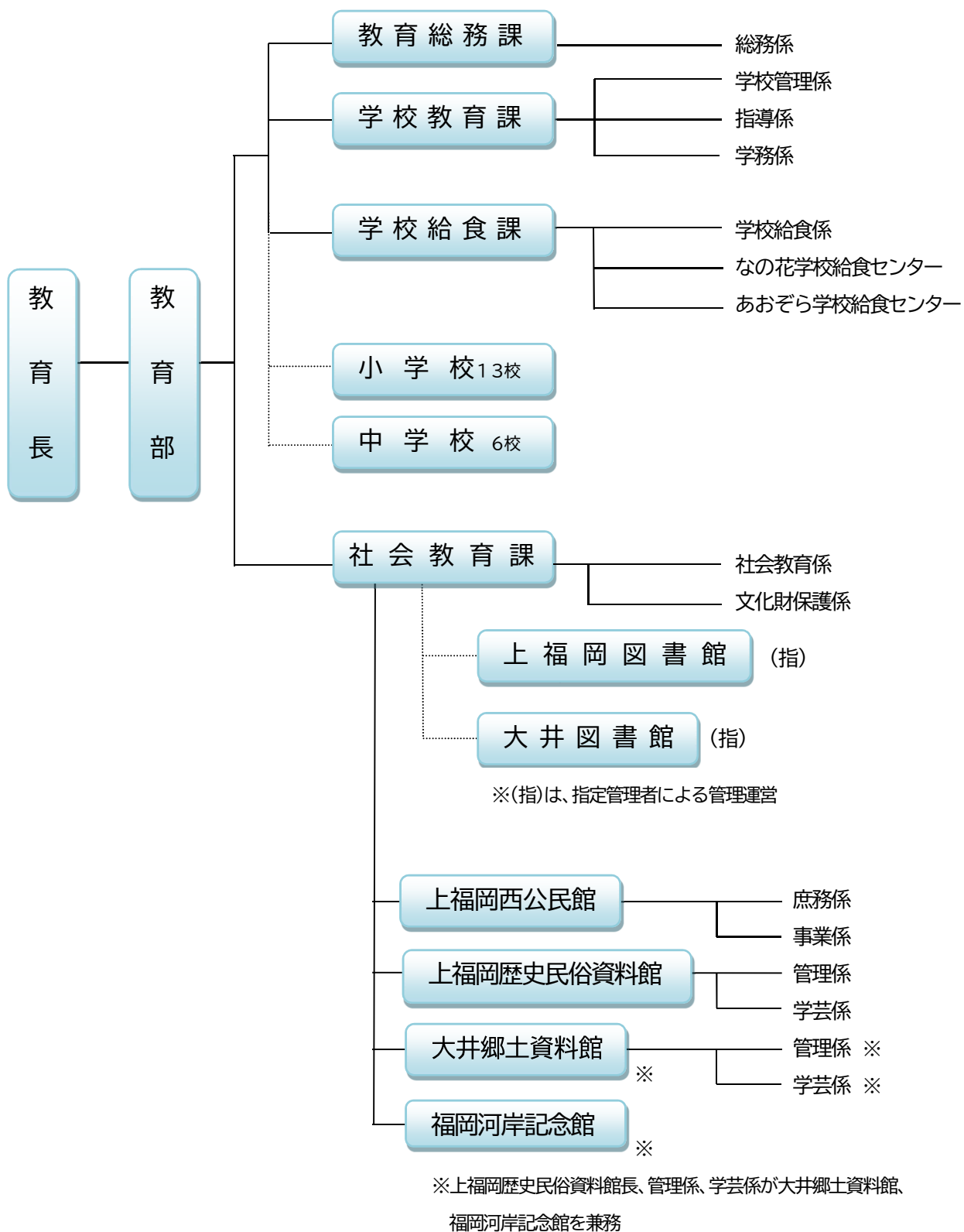
2 歴代教育委員及び教育長

氏 名	教 育 委 員		教 育 委 員 長		教 育 長	
西 山 安 吉	H17.10.1	H19.11.24	H17.11.25	H19.11.24		
吉 野 英 明	H17.10.1	H20. 9.16			H17.10.1	H20. 9.16
星 野 貴 一	H17.10.1	H20.11.24				
金 子 繁	H17.10.1	H21.11.24	H19.11.26	H21.11.24		
富 山 章	H17.10.1	H26.11.24	H21.11.25	H26.11.24		
雪 平 定 夫	H19.11.25	H27.11.24				
松 下 勇 司	H20.12.12	H21.11.24			H20.12.12	H21.11.24
宮 寺 康 夫	H20.12.12	H24.12.11				
矢 島 秀 一	H22.. 3.19	H26. 3.18			H22. 3.19	H26. 3.18
小 熊 千寿子	H22.. 3.19	H26. 3.18				
富 田 信太郎	H24.12.12	R2.12.11				
塩 野 好 一	H26. 3.19	H30. 3.18				
朝 倉 孝	H26. 4. 1	H27. 3.31			H26. 4. 1	H27. 3.31
山 城 いづみ	H26.11.25	H30.11.24				

平成27年度以降

氏 名	教 育 委 員		教育長職務代理者		教 育 長	
朝 倉 孝					H27. 4. 1	R9. 3.31
富 田 信太郎	H24.12.12	H28.12.11	H27. 4. 1	R6.12.11		
塩 野 好 一	H26. 3.19	R4. 3.18				
山 城 いづみ	H26.11.25	H30.11.24				
伊 藤 英 夫	H27. 5.22	R1. 5.21				
丸 山 昇	H30.11.25	R4.11.24				
茂 井 万里絵	R1. 5.22	R9. 5.21				
西 山 幸 吉	R4. 3.19	R8. 3.18				
吉 野 榮	R4.11.25	R8.11.24				

3 教育委員会組織図



4 事務局及び教育機関の事務分掌

課	分掌事務
教育総務課	1 教育委員会の会議に関すること。
	2 職員の人事に関すること。
	3 教育長の秘書及び渉外に関すること。
	4 公印の管理に関すること。
	5 規則、規程等の制定改廃に関すること。
	6 入学準備金及び奨学金の利子補給等に関すること。
	7 学校施設の整備及び維持管理に関すること。
	8 学校備品に関すること。
学校教育課	1 学校経営、学校管理の指導及び助言に関すること。
	2 教職員の人事、管理及び服務に関すること。
	3 学級編制に関すること。
	4 教育課程に係る指導及び助言に関すること。
	5 教育指導に係る研修に関すること。
	6 学校人権教育に係る指導及び助言に関すること。
	7 生徒指導、教育相談に係る連絡、調整及び推進に関すること。
	8 特別支援教育の教育課程に係る指導及び助言に関すること。
	9 地域協働学校の推進に関すること。
	10 児童・生徒の就学支援に関すること。
	11 教科用図書及びその他の教材の取扱いに関すること。
	12 児童・生徒の学籍及び就学等に関すること。
	13 通学区域の設定及び改廃に関すること。
	14 就学援助に関すること。
	15 健康教育に関すること。
	16 学校保健及び学校安全に関すること。
	17 学校開放に関すること。
	18 ふじみ野市PTA連合会に関すること。
	19 新型コロナウイルス感染症に関すること。

課	分掌事務
学校給食課	1 学校給食事業の実施に関すること。
	2 学校給食センター運営審議会に関すること。
	3 児童・生徒の食育に係る指導に関すること。
	4 学校、学校給食センターとの連絡調整に関すること。
	5 学校給食センター施設設備の維持管理及び運営に関すること。
	6 学校給食費に関すること。
社会教育課	1 社会教育の推進に関すること。
	2 社会教育委員に関すること。
	3 人権教育に関すること。
	4 地域学校協働活動の推進に関すること。
	5 社会教育施設の設置及び管理に関すること。
	6 二十歳の集いに関すること。
	7 学校運動場照明施設及び学校体育施設の開放に関すること。
	8 図書館に関すること。
	9 文化財の保護、調査及び保存に関すること。
	10 文化財の指定及び解除に関すること。
	11 文化財保護審議会に関すること。
	12 文化財の普及、啓発及び活用に関すること。

本市が目指す教育の姿 ～第2期教育振興基本計画(概要)～

1 計画の基本理念

本市は、子供と大人が共に学びあい、その学びの成果が次の学びへとつながる好循環を生む「共育」を推進することにより、次代のあったかな絆で結ばれた持続可能な社会の担い手の育成を目指していきます。

本市教育の振興に向けて、第1期計画でも掲げた次の基本理念を継承して計画の推進を図ります。

あったかな絆で育む「共育」を目指して

2 子供たちの未来の姿

郷土と温かく強い絆で結ばれたふじみ野市の子供たちが、これからの変化の激しい社会の中で、自分の力で道を切り開き、よりよい社会作りに貢献できる人間となることを願い、第1期計画で設定した子供たちの未来の姿と目指す4つの力を第2期計画でも引き継ぎます。

ふじみ野市の子供たちの未来の姿

温かで強い絆で結ばれた郷土
ふじみ野を背負って立つ人間

先を見通すことの難しい時代において、生涯を通じて学び、考え続け、予想外の事態を乗り越えながら、自らの人生を切り拓き、よりよい社会づくりに貢献できる人間



『目指す4つの力』

- 1 自分を知り、さらに伸びていこうとする力
- 2 困難な状況に主体的に立ち向かう力
- 3 自ら課題を見つけ、よりよく解決するための確かな学力
- 4 自分も認め、他者も認める温かで多様な人間関係を築いていく力

3 基本方針

本市教育の基本理念と、子供たちの未来の姿の実現に向けて、次の3つの基本方針に沿って施策の展開を図ります。

基本方針1 確かな学力と自立する力の育成



主体的・対話的で深い学びを教育の根幹に位置づけ、急激に変化する社会の中でも、たくましく生き抜く力を備えた子供を育成するとともに、確かな学力と次代を担う総合的な人間力を備えた子供たちの育成を図ります。

基本方針2 絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進



学校・家庭・地域が協働・連携して絆を深め、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」を実現し、よりよい社会を創るという理念を共有し、子供と大人が共に学びあい、その学びの成果が次の学びへとつながる「共育」の推進を図ります。

基本方針3 温もりある人と地域を育む学びの推進

(市長部局との連携推進)



人生100年時代を見据え、生涯にわたって自ら学習し、自己の能力を高め、学習の成果を働くことや地域・社会の問題解決につなげていけるように、人と地域を育む生涯学習・文化活動・スポーツの推進を図ります。

4 施策体系

基本理念	基本方針	施策	施策の展開
あつたかな絆で育む「共育」を目指して	基本方針1 確かな学力と自立する力の育成	1 学ぶ意欲と確かな学力を育む教育の推進	①一人一人の学力を伸ばす教育の推進
			②主体的・対話的で深い学びを通じた資質・能力の育成
			③伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進
			④技術革新に対応する教育の推進
			⑤社会に開かれた教育課程を活用した自立する力の育成
			⑥特別支援教育の充実
		2 心身ともに健康で、豊かな人間性を育む教育の推進	①学校教育における人権教育の推進
			②道徳教育の充実
			③子供と向き合い育む教育の充実
			④体験学習、体験活動の充実
			⑤生徒指導体制の充実
			⑥教育相談体制の充実
			⑦体力向上、学校保健の充実
			⑧食育の推進
			⑨学校給食センター施設の充実
			⑩読書活動の充実
			⑪芸術文化等に親しむ活動の充実
			⑫ボランティア・福祉教育の充実
			⑬環境教育の充実
			⑭格差是正のためのセーフティネットの充実
		3 安全、安心で笑顔あふれる学校づくりの充実	①安全教育、防災教育の推進
			②学校施設等の整備・充実
			③学校・家庭・地域連携の充実
		4 質の高い学校教育の推進	①学びの連続性を重視した教育の推進
			②効果的・効率的な学校運営の推進
			③教職員の資質・指導力の向上
			④質の高い教育実践を支える環境整備
			⑤教職員の人事管理制度の充実
	基本方針2 絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進	5 地域とともに子供を育む教育の推進	①家庭・地域の教育力を生かす教育の充実
			②大学生によるサポーター制度 [*] の活用推進
			③ふじみ野市版コミュニティスクール「地域協働学校」の推進
			④学校施設の有効活用・複合化の推進及び小中学校の施設活用(新しい学びの公共空間の活用促進)
		6 温もりのある家庭・地域づくりの推進	①家庭の教育力向上のための支援
			②家庭教育事業の推進
			③放課後を活用した学習支援
			④PTA 連合会への協力
	基本方針3 温もりある人と地域を育む学びの推進(市長部局との連携推進)	7 生涯を通して学び続ける環境づくりの推進と活躍を支える仕組みづくり	①市民の生涯学習・社会教育活動への支援
			②学びの成果を還元する仕組みの充実
			③公民館・図書館・資料館の整備・充実
			④地域の歴史文化の継承と文化財の保存と活用
			⑤文化活動の推進
			⑥スポーツの推進
			⑦人権教育の推進
			⑧平和事業の推進

1 教育振興基本計画アクションプランの体系

基本方針Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成

施策1 学ぶ意欲と確かな学力を育む教育の推進

- 一人一人の学力を伸ばす教育の推進
- 主体的・対話的で深い学びを通じた資質・能力の育成
- 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進
- 技術革新に対応する教育の推進
- 社会に開かれた教育課程を活用した自立する力の育成
- 特別支援教育の充実

施策2 心身ともに健康で、豊かな人間性を育む教育の推進

- | | |
|------------------|----------------------|
| ■学校教育における人権教育の推進 | ■道徳教育の充実 |
| ■子供と向き合い育む教育の充実 | ■体験学習、体験活動の充実 |
| ■生徒指導体制の充実 | ■教育相談体制の充実 |
| ■体力向上、学校保健の充実 | ■食育の推進 |
| ■学校給食センター施設の充実 | ■読書活動の充実 |
| ■芸術文化等に親しむ活動の充実 | ■ボランティア・福祉教育の充実 |
| ■環境教育の充実 | ■格差是正のためのセーフティネットの充実 |

施策3 安全、安心で笑顔あふれる学校づくりの充実

- | | |
|----------------|--------------|
| ■安全教育、防災教育の推進 | ■学校施設等の整備・充実 |
| ■学校・家庭・地域連携の充実 | |

施策4 質の高い学校教育の推進

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ■学びの連続性を重視した教育の推進 | ■効果的・効率的な学校運営の推進 |
| ■教職員の資質・指導力の向上 | ■質の高い教育実践を支える環境整備 |
| ■教職員の人事管理制度の充実 | |

基本方針Ⅱ 絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進

施策5 地域とともに子供を育む教育の推進

- 家庭・地域の教育力を生かす教育の充実
- 大学生によるサポーター制度の活用推進
- ふじみ野市版コミュニティスクール「地域協働学校」の推進
- 学校施設の有効活用・複合化の推進及び小中学校の施設活用
(新しい学びの公共空間の活用促進)

施策6 温もりのある家庭・地域づくりの推進

- 家庭の教育力向上のための支援
- 家庭教育事業の推進
- 放課後を活用した学習支援
- PTA連合会への協力

基本方針Ⅲ 温もりある人と地域を育む学びの推進

施策7 生涯を通して学び続ける環境づくりの推進と活躍を支える仕組みづくり

- 市民の生涯学習・社会教育活動への支援
- 学びの成果を還元する仕組みの充実
- 公民館・図書館・資料館の整備・充実
- 地域の歴史文化の継承と文化財の保存と活用
- 文化活動の推進
- スポーツの推進
- 人権教育の推進
- 平和事業の推進

2 教育費予算

(当初予算ベース)

◎教育費の推移

(単位:千円)

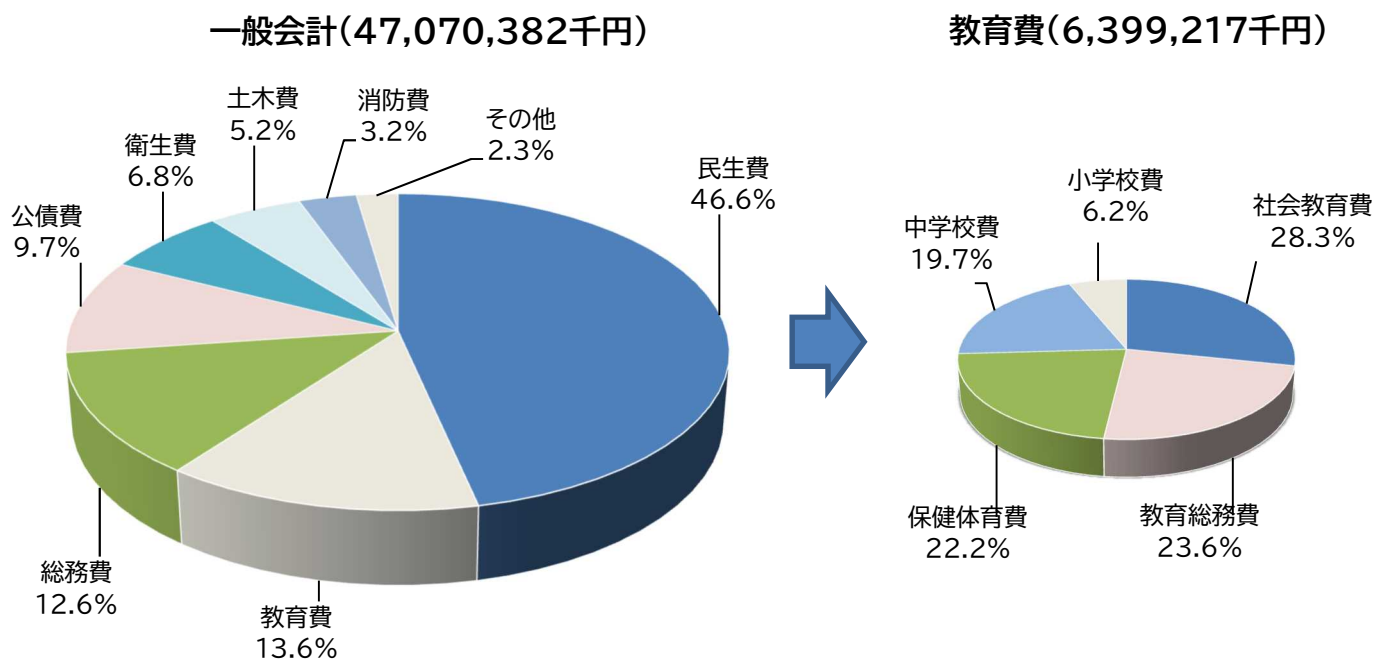
年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一 般 会 計	47,070,382	47,875,788	43,058,587
教 育 費	6,399,217	4,563,046	4,210,706
一般会計に対する 教育費の割合	13.6%	9.5%	9.8%

◎教育費内訳

(単位:千円)

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
教育総務費	1,512,110	923,231	956,705
小 学 校 費	393,187	795,250	1,029,005
中 学 校 費	1,261,649	720,777	215,289
社会教育費	1,811,693	714,688	727,166
保健体育費	1,420,578	1,409,100	1,282,541
合 計	6,399,217	4,563,046	4,210,706

◎令和6年度予算における教育費の割合



1 確かな学力と自立する力の育成

1 学ぶ意欲と確かな学力を育む教育の推進

(1)『一人一人の学力を伸ばす教育の推進』

一人一人の子供たちが未来社会を切り拓いていくために、学習指導要領に基づき、基礎的・基本的な知識や技能の習得を目指した学習の推進と学習習慣の定着を図ります。また、少人数指導支援員、中学校教科補充講師、学び育ちサポーター、特別支援学級等介助員と連携したきめ細やかな指導を推進します。

学力・学習状況調査の結果分析等を本人・保護者・学校が共有し、活用することで、家庭との連携を深め、学習習慣や生活習慣の確立に努めます。また、小中学校の連携を通して、小中学校9年間にわたる学びと育ちの連続性を重視した教育を展開します。

■教科に関する調査結果【小・中学校】(平均正答率%)

	教科	ふじみ野市	埼玉県	全国
小学生	国語	68.0	68.0	67.2
	算数	63.0	62.0	62.5
中学生	国語	73.0	71.0	69.8
	数学	53.0	52.0	51.0
	英語	51.0	46.0	45.6

資料: 令和5年度全国学力・学習状況調査結果:ふじみ野市教育委員会結果概要

(2)『主体的・対話的で深い学びを通した資質・能力の育成』

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育課程を着実に実施するため、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進し、児童生徒が主体的に授業に参加し、より質の高い思考力・判断力・表現力等を育む教育を推進します。

一人一台タブレット端末を活用し、基本的な操作技能やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等の指導の充実を図ります。

(3)『伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進』

国際社会をたくましく生き抜き、活躍できる子供の育成に向けて、多文化共生の意識やグローバルな視野の育成を図ります。また、ALT(Assistant Language Teacher)の配置、活用等を通じて、小中学校の外国語活動及び外国語の授業の充実を図ります。

歴史民俗資料館や大井郷土資料館と連携した授業を実施することで、ふじみ野市の伝統と文化を尊重する心の育成を図ります。また、令和5年度から社会科副読本デジタルブックを作成し、小学校3・4年生の社会科で活用することで、より一層の探求化の学習を推進し、郷土愛を育み、地域を理解するよう指導の充実を図ります。

(4)『技術革新に対応する教育の推進』

文部科学省の示す GIGA スクール構想を実現するため、児童生徒 1 人1台の端末と、ネットワーク環境を整備しました。また、教員の ICT を活用した指導力向上を図るため、教育課程研究委員会を中心とした ICT を活用した授業・教材開発・指導法の研究を推進します。

学習指導要領に基づき、プログラミング教育を小学校1年生から中学校3年生で実施し、科学技術や理科、数学、ものづくり等に対する子供の関心・意欲を高めます。

(5)『社会に開かれた教育課程を活用した自立する力の育成』

社会のつながりの中で学ぶこと、子供が自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感が持てる共育を推進します。

学校の教育活動に講師派遣や職場体験プログラムなどを通して、地元企業や大学・NPO等の専門的な教育力を効果的に導入するなど地域協働学校のしくみを活用した地域人材による進路指導・キャリア教育を推進します。

(6)『特別支援教育の充実』

一人一人の教育的ニーズを把握し、その能力や可能性を最大限に高め、生活や学習上の困難を改善するため、合理的配慮を含めた適切な教育的支援の推進に努めます。また、就学支援委員会の充実を図るとともに、教育、医療、福祉などとの連携を図ります。特別支援学級に在籍する児童生徒においては、障害の様子や発達段階に応じた効果的な指導内容・指導方法を工夫し充実に努めます。通常の学級に在籍する教育上特別な教育的支援を必要とする児童生徒においては、校内支援体制の充実を図り、専門家による効果的な支援が得られるように他機関との連携に努めます。

■特別支援学級及び通級指導教室の設置状況(令和6年度当初)

	対象	学校名
特別支援学級	知的	小学校 全13校 中学校 全 6 校
	自閉・情緒	小学校 全13校 中学校 全 6 校
	病弱・身体虚弱	鶴ヶ丘小
通級指導教室	発達・情緒	駒西小、東台小、西小、福岡中
	難聴・言語	福岡小、亀久保小

2 心身ともに健康で、豊かな人間性を育む教育の推進

(1)『学校教育における人権教育の推進』

人権教育のためのふじみ野市行動計画等を踏まえ、学校における人権教育推進体制を確立するとともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業、人権教育に関する教職員対象の指導法研修会を充実させ、人権教育の推進に努めます。

子供の発達段階に応じて、人権問題の正しい理解と人権感覚を身に付け、様々な人権問題を解決しようとする子供を育成します。

(2)『道徳教育の充実』

各校の道徳教育推進教師を中心に、子供がよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、各学年の系統性を明確にした道徳科の授業の充実を図ります。また、教育活動全体を通し、道徳教育を充実させることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。

(3)『子供と向き合い育む教育の充実』

一人一人の子供の学習面や生活面を把握し、個に応じた指導の充実を図ります。授業改善と業務改善による働き方改革を推進し、教職員が子供と過ごす時間を充実させ、ゆとりある教育活動とおして生きる力を育成します。また、市費会計年度任用職員の配置を充実させ、一人一人に応じたきめ細やかな教育の推進を図ります。

■市費会計年度任用職員の職種

職種	職務内容
① 学び育ちサポーター	発達に課題のある児童生徒の生活面及び学習面の支援や補助を行います。 学校生活にうまく適応できない児童生徒の支援の補助を行います。 いじめの防止、解消に向けた児童生徒への支援を行います。
② 少人数指導支援員	少人数指導のための支援や一人一人の子どもに合わせた学習支援を行います。
③ 中学校教科補充講師	生徒の学習活動に関する指導と支援を行います。
④ 特別支援学級等介助員	特別支援学級に在籍する児童生徒の支援や援助を行います。
⑤ 教員業務支援員	学級・学年事務の補助や授業準備の補助等、教員業務の補助を行います。
⑥ 医療的ケア看護職員	医療的ケアを必要とする児童生徒に対する医療行為等を行います。

⑦さわやか相談員	各中学校のさわやか相談室に在籍し、児童生徒及び保護者への相談・支援を行います。
⑧学校マネジメント支援員	小中学校の教頭が行う業務の補助を行います。

(4)『体験学習、体験活動の充実』

生活科や総合的な学習の時間、学校行事などにおける体験活動の充実を図り、各校の特色を生かした活動を実施します。また、みどりの学校ファームによる自然体験の充実を図ります。

「社会に開かれた教育課程」の理念の下、ふじみ野市版コミュニティ・スクール「地域協働学校」「地域学校協働活動」を一体的に推進し、地元企業等と積極的な連携を図り、「本物や一流、最先端に触れる」機会を一層増やし、その教育活動のプロセスにおいて、「なぜ、どうして」という「知的好奇心」を引き出す学びの充実を図ります。

(5)『生徒指導体制の充実』

管理職のリーダーシップの下に、全教職員の共通理解に基づいた校内指導体制を充実させ、教育活動全体を通して、いじめの防止・不登校対策など積極的な生徒指導を推進します。

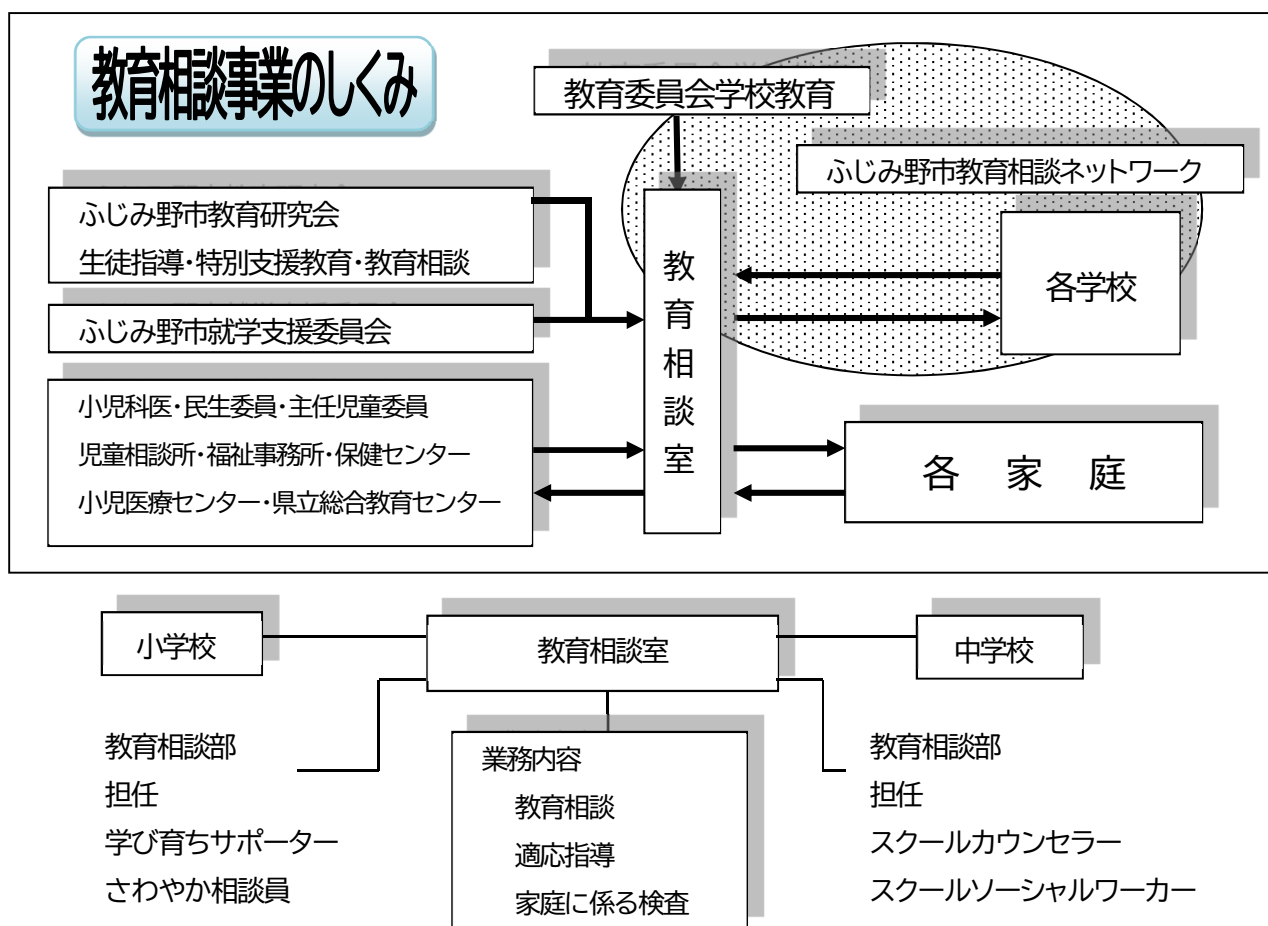
いじめについては、ふじみ野市子どもいじめ条例に基づき、学校・家庭・地域が連携・協働し、関連施策を推進します。ふじみ野市いじめ見逃しゼロ連絡協議会、ふじみ野市いじめ問題対策委員会、各学校いじめ問題対策委員会と連携し、組織的ないじめの早期発見・早期対応、いじめの未然防止・再発防止の啓発等を推進します。

また、小・中・高等学校の連携を密にして、学校・家庭・地域・関係機関が一体となって一貫した健全育成活動を推進し、児童生徒の自己実現に努めます。

(6)『教育相談体制の充実』

児童生徒の望ましい心の成長を図り、不登校児童生徒の支援を行うため、教育相談室の機能の一層の充実を図り、適応指導の機能を充実させるとともに、相談内容や程度により専門的な指導・助言が得られるように関係機関との連携に努めます。

また、「ふじみ野市子どもいじめ防止条例」を踏まえ、学校における教育相談体制の一層の充実とともに、いじめ問題などの未然防止・早期発見・問題等の早期解決に努めます。各中学校に設置したさわやか相談室の機能を充実させ、県から定期的に派遣されるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用します。



(7)『体力向上、学校保健の充実』

生涯を通じて心身共に健康で安全な生活を送れるよう、豊かな心とたくましい身体を持つ児童生徒の育成を目指します。

体力の向上及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科の学習を中心にして、学校の教育活動全般を通して計画的・継続的に行うよう努めます。

保健学習や保健指導を計画的に行い、適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全である生活を送るための基礎が培われるようにします。

(8)『食育の推進』

学校給食は、学校給食法に基づき、教育の一環として児童生徒の心身の健全な発達に資するため、さらなる充実と、食に関する知識や食を選ぶ能力、また、食や自然、生産者への感謝や勤労の心、地元への愛着心など、健全な生きる力を育むことが出来るように、食育の推進が求められています。

また、義務教育終了後に安全に食事をしていくために、保護者、学校と連携を取りながら、義務教育の9年間をかけて児童生徒自身がアレルギーに気付き対応する力を付けられるよう、成長段階に応じた指導を行っています。

学校給食を活用した食に関する指導の充実が求められていることから、学校との連携がこれまで以上に重要となります。

① 本市の学校給食の特色

教育活動の一環として、市立小中学校に完全給食を実施しています。運営については、調理等の業務を一括処理するセンター方式で行っており、市内にある2つの学校給食センターでは、いずれの施設もドライシステムにより調理を行っています。

本市の学校給食の特色としては、児童生徒の未成熟な身体面を考慮し、食材の残留農薬・微生物・放射性物質等の検査や食品添加物等を使った食品や食材の排除などにより、衛生管理、栄養管理に十分留意した安全安心な給食の提供に努めています。

また、地元JA及び関係部局との連携により、地場農産物を学校給食へ積極的に取り入れることにより、ふるさとへの愛着と生産者への理解を深めるとともに、地元の新鮮な食材からの味覚を育てています。

その他、「食文化」への関心を持ち、豊かな人間関係が築けるよう、リクエスト給食(希望献立)やお楽しみ給食等を実施しています。

○リクエスト給食(希望献立)

児童生徒らの希望を給食に取り入れることで、給食に参加する喜びを持ち、さらに給食への興味関心を高める。

○お楽しみ給食(小学校6年生)

給食の楽しさを味わい、和やかな雰囲気でする。

食事マナーを身につけ、小学校の給食の思い出づくりをする。

② 食物アレルギー対応食の提供

平成28年4月から、アレルギー資料の提供及び牛乳からお茶への代替に加え、卵と乳の除去を基本とした食物アレルギー対応食(除去食)を提供しています。食物アレルギー対応食の調理は、なの花学校給食センターの食物アレルギー対応食専用調理室で行い、専用のランチボックスを使用し児童の元に届きます。

③ 学校給食センター運営審議会

適正かつ円滑な運営を図るため、教育委員会の諮問に応じて、学校給食センターの運営に関する重要な事項について審議をお願いしています。

(小中学校長代表、小中学校PTA代表、小中学校給食主任、保健所職員、小中学校学校医、薬剤師)

④ 学校給食運営委員会

食育の推進及び学校給食に関する事項を協議し、学校給食を活用した食育の推進及び学校給食の指導等の充実を図ります。

(小中学校長、栄養教諭、学校栄養職員、小中学校給食主任等)

⑤ 学校給食献立検討会

給食の内容及び食の情報などについて意見交換を行い、安全で安心なより良い給食の方向づけを検討しています。

(学校給食課長、学校給食センター所長、栄養教諭、学校栄養職員、小中学校給食主任)

⑥ 学校給食用物資の購入

学校給食用物資は、栄養成分、食品配合割合、添加物、味、風味等の物資選定審査に合格した物資を見本・見積り及び入札により毎月購入しています。

また、基本物資(パン・麺・米飯・牛乳など)は、学校給食用食材売買契約書に基づき、(公財)埼玉県学校給食会から購入しています。

(9)『学校給食センター施設の充実』

学校給食の衛生管理の徹底を図るため、学校給食センターの施設や調理器具等の整備に努め給食業務の事故防止を図り、安全・安心な学校給食を提供します。

平成28年4月に稼動を開始した、なの花学校給食センターではPFI方式を導入しており、民間事業者のノウハウを活用することにより、効果的でより衛生的な運営を維持しています。

あおぞら学校給食センターは、平成17年9月から稼動し、19年が経過しているため、計画的な修繕等を実施し、適正な管理に努めます。また、将来的な視野にたった運営方法等も検討します。

① なの花学校給食センターの概要

(提供食数は令和6年7月1日現在)

施設名	なの花学校給食センター	
所在地	ふじみ野市中福岡122-1	
開設	平成28年4月	
建物面積	3,209.2㎡	
提供食数	5,214食(1日)	

② あおぞら学校給食センターの概要

(提供食数は令和6年7月1日現在)

施設名	あおぞら学校給食センター	
所在地	ふじみ野市西鶴ヶ岡1769-1	
開設	平成17年9月	
建物面積	2,248.21㎡	
提供食数	4,275食(1日)	

(10)『読書活動の充実』

読書を通して、生涯にわたり学ぶ喜びや豊かで感受性に富んだ児童生徒の育成をめざし、読書等の活動に積極的に取り組みます。また、図書館支援員や学校図書活用促進員の配置により学校図書館を整備・充実させ、学校における読書活動の充実を図ります。

(11)『芸術文化等に親しむ活動の充実』

近隣の音楽大学の学生によるコンサート、お囃子や太鼓等地域の伝統芸能の体験活動を充実させます。

(12)『ボランティア・福祉教育の充実』

豊かな心や他人を思いやる心、感謝の心、勤労の貴さ、社会に奉仕する精神及びともに生きていこうとする力や、社会福祉に関する問題を解決する実力を身に付けた児童生徒をめざします。

ボランティア・福祉教育の意義を全教職員が共通理解し、発達段階に応じた教育活動の推進に努めます。

(13)『環境教育の充実』

地域協働学校において、地域や保護者の協力を得て、花いっぱい運動等の環境整備を実施します。また、季節感のある彩りあふれる学校づくりを通して、常に活性化に努めます。

環境問題をテーマとした総合的な学習の時間の授業を環境課と協働で実施し、学校給食の牛乳パックをリサイクルする取組を通して、自然環境を維持し、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材を育成します。

(14)『格差是正のためのセーフティネットの充実』

① 就学援助の充実

経済的理由により就学が困難な家庭の保護者に対して、学校給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・林間学校費・医療費等の一部を援助します。

■要保護・準要保護児童生徒数および支給額推移

年度	認定者(人)	割合	支給額(円)
令和5年度	1,155	12.21%	88,823,027
令和4年度	1,224	12.94%	93,708,734
令和3年度	1,230	12.89%	93,176,689
令和2年度	1,187	12.72%	71,018,304
令和元年度	1,177	12.61%	85,326,981

③ 入学準備金・奨学金貸付制度

高校・大学等に進学する際に日本政策金融公庫や日本学生支援機構から融資を受けた方の経済的負担を軽減するため、平成30年度から利子補給制度を実施しています。

利子補給限度額は年額1万円、利子補給期間は5年間です。

3 安全、安心で笑顔あふれる学校づくりの充実

(1)『安全教育、防災教育の推進』

小中学校における交通安全教室の実施など、交通安全教育の充実を図ります。また、警察、民間団体等と連携した交通安全・防犯教室の充実に努めます。

(2)『学校施設等の整備・充実』

安全・安心・快適な教育環境を確保するため、計画的に校舎等の大規模改造工事を実施しています。

令和5年度は、鶴ヶ丘小学校の2期工事、大井東中学校の1期工事を行いました。

また、西原小学校の外装改修工事、大井西中学校の防球ネット増設工事等を実施しました。

令和6年度は、大井東中学校の2期工事、福岡中学校 D 棟の1期工事を実施します。

また、東台小学校の増築棟整備事業のプロポーザルによる業者選定等を実施し、事業に着手します。

(3)『学校・家庭・地域連携の充実』

地域、保護者に対して学校公開を行うとともに、学校を核として、家庭・地域・関係機関(PTA・自治組織・健全育成会など)が連携・協力し、組織的・計画的・総合的に児童生徒の育成に努めます。

4 質の高い学校教育の推進

(1)『学びの連続性を重視した教育の推進』

幼・保、小、中、高の連携に向けて、異校種体験、異年齢間交流、情報交換の実施など相互理解を深める取組を進めます。小中連携協議会を定期的に行い、中学校区単位の小中連携の強化を図ります。学校間の接続期における不適応などの教育課題への対応、個別に課題を抱える子供への対応など、義務教育課程9年間を見通した連続性や一貫性を重視した教育を展開し、子供の学習意欲の向上や個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ります。

(2)『効果的・効率的な学校運営の推進』

管理職のマネジメント機能の強化を図り、学校教育目標の具現化に向け、教育課程におけるPDC Aサイクルの確立に努めます。

また、校務の情報化による効果的・効率的な学校運営を推進します。

(3)『教職員の資質・指導力の向上』

国、県、市が実施する委嘱研究等を奨励し、学校の教育力向上を図ります。

また、個人グループ研究や希望研修などの各種研修会、学校指導訪問等を通じて、教職員の資質・指導力の向上を図ります。

(4)『質の高い教育実践を支える環境整備』

デジタル教科書やプロジェクター、書画カメラなどを計画的に配置し、わかる授業、できる喜びを味わうことのできる授業を推進します。

一人一人に応じたきめ細やかな支援のために支援員やさわやか相談員を配置し、組織的に対応します。

(5)『教職員の人事管理制度の充実』

教職員の実態把握と適正な人事管理に向けて、各種研修会及び倫理確立委員会の実施、人事評価制度の充実を図り、服務規律の厳正確保、事故防止の徹底に努めます。

また、教職員の心身の健康管理に向けて、健康診断や健康相談を実施します。



2 絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進

1 地域とともに子供を育む教育の推進

(1)『家庭・地域の教育力を生かす教育の充実』

家庭学習の充実、生活習慣の確立など、家庭の教育力の向上を図ります。また、地域協働学校の仕組みを活かし、地域の教育力を積極的に活用した取組を推進します。

(2)『大学生によるサポーター制度の活用推進』

近隣の大学より市内の各小中学校に大学生を派遣しています。主に、小学校低学年の学習、生活支援や英語活動の補助、学習の補助等を行い、一人一人に対するきめ細かい指導・支援の充実を図るとともに、学校の活性化を推進しています。

(3)『ふじみ野市版コミュニティスクール「地域協働学校」の推進』

市内全校に学校運営協議会を設置し、地域協働学校いわゆるコミュニティ・スクールとして指定しました。地域協働学校における保護者や地域の人々をパートナーとした「共育」の実現を推進します。

また、保護者、地域住民の授業や行事への参画、参加を企画し、学校を中心とした地域コミュニティの活性化に努めます。

令和4年度から地域学校協働活動推進員を市内全校に配置し、地域学校協働活動を推進しています。

(4)『学校施設の有効活用・複合化の推進及び小中学校の施設活用 (新しい学びの公共空間の活用促進)』

地域住民の多様化する学習ニーズに対応した学習機会を提供するため、小学校の施設を開放します。

開放施設 対象：団体利用

開放日時(西原小・亀久保小・東台小)

開放校	開放施設
亀久保小学校	図工室、音楽室
東台小学校	音楽室、会議室、図工室

開放日	開放時間
月曜日～金曜日まで	午後6時～午後9時
日曜日及び土曜日	① 午前9時～正午 ② 正午～午後3時 ③ 午後3時～午後6時 ④ 午後6時～午後9時

2 温もりのある家庭・地域づくりの推進

(1)『家庭の教育力向上のための支援』

学力・学習状況調査の結果を公表し、学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上を推進します。また、分析結果等を通して、家庭学習のねらいや内容、取組のポイントなど、家庭でできる具体的な支援を示し、家庭との連携を深め、児童生徒の学力向上に努めます。

(2)『家庭教育事業の推進』

健全な児童生徒の育成と家庭の教育力の向上を図るため、各学校で開催している家庭教育学級を円滑に実施できるように支援します。

(3)『放課後を活用した学習支援』

地域指導協力者を活用し、中学校における部活動等の充実を図ります。

放課後子ども教室

小学校の教室や施設を活用し、放課後に子どもたちの安全かつ安心な居場所を確保し、地域の方々の協力を得ながら様々な体験と活動を通し、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを促進します。

令和5年度は、13校中11校にて1学期より通年で開催しました。2校については、3学期に1回体験イベントを開催しました。

放課後児童クラブとの交流事業も各校学期に1回を目安に取り組みました。また、昨年度に引き続き、文京学院大学と連携し、大学生が実際に企画・運営を行い、児童や指導員との交流を行いました。

令和6年度は、全13校にて通年で開催します。学校によっては、これまでの応募状況等を鑑み、教室数又は開催曜を増やす検討も進めていきます。

また、引き続き放課後児童クラブとの交流事業も各校学期に1回を目安に取り組む予定で、文京学院大学との連携もより強化し、事業への参加の回数を増やしていく予定です。

「放課後子ども教室」の実績(令和5年度)

	開 設 校	開 設 日	実施曜日	実施日数	登録人数	延べ登録人数 (開設日～R5)
1	西 原 小 学 校	平 成 2 1 年 1 0 月 2 日	3学期に体験 イベント開催	1日	7人	728人
2	東 台 小 学 校	平 成 2 2 年 2 月 1 日	毎週金曜	28日	12人	352人
3	さぎの森小学校	平 成 2 3 年 3 月 1 4 日	3学期に体験 イベント開催	1日	15人	596人
4	駒 西 小 学 校	平 成 2 3 年 1 1 月 3 0 日	毎週木曜	30日	24人	1,378人
5	三 角 小 学 校	平 成 2 3 年 1 2 月 2 日	毎週月曜	31日	36人	1,387人
6	東 原 小 学 校	平 成 2 4 年 1 0 月 2 2 日	毎週水曜	32日	42人	1,726人
7	元 福 小 学 校	平 成 2 4 年 1 0 月 2 5 日	毎週水曜	33日	30人	801人
8	西 小 学 校	平 成 2 5 年 1 0 月 2 2 日	毎週月曜	27日	35人	1,177人
9	大 井 小 学 校	平 成 2 5 年 1 0 月 2 8 日	毎週月曜	27日	36人	658人
10	亀久保小学校	平 成 2 6 年 1 0 月 2 0 日	毎週火曜	33日	28人	1,386人
11	福 岡 小 学 校	平 成 2 6 年 1 0 月 3 0 日	毎週木曜	33日	30人	1,253人
12	上野台小学校	平 成 2 7 年 1 0 月 1 9 日	毎週金曜	30日	36人	1,613人
13	鶴ヶ丘小学校	平 成 2 7 年 1 0 月 1 9 日	毎週水曜	32日	41人	1,394人
合 計				338日	372人	14,449人

(4)『PTA 連合会への協力』

PTA 連合会の活動方針に基づき実施している、学校・家庭・地域を結ぶための各学校での PTA の活動や講演会、広報誌コンクールなどの取組を支援します。

3 温もりある人と地域を育む学びの推進

1 生涯を通して学び続ける環境づくりの推進と活躍を支える仕組みづくり

生涯を通して学び続ける環境づくりの推進に向けて、市民の生涯学習・スポーツ活動の充実や文化活動の推進を図ります。また、市民のニーズを把握し、地域課題の解消に向けた学習や、地域理解に向けた学習への支援を行います。

(1)『市民の生涯学習・社会教育活動への支援』

① 高齢者教育事業

60 歳以上の高齢者を対象に、いつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送っていただくために、3学部5学科の教室を5月から3月までの間で幅広い学習の場を提供し、その成果を地域づくりに生かせるよう支援しています。

○昭和100年大学



② 青少年教育事業

小中学生を対象に、多様な学びを体験することで、健全で心豊かな人間関係を育むための学習機会を提供しています。

○子どもの城、ふくっ子クラブ、わんぱく教室、子どもひろば、小学3年生公民館体験教室など

③ 成人教育事業

成人の方を対象に各種講座・教室を開催し、地域や生活の課題を学習する機会を提供しています。

○子育て講座、家庭教育セミナー、障がい者青年学級「コスモスくらぶ」、日本語(にほんご)教室、人権講座、分館コミュニティ事業、趣味講座など

④ 二十歳の集い

「おとなになったことを自覚し、自ら生きぬこうとする二十歳を祝いはげます」ことを目的として二十歳の集いを開催しています。



二十歳の集い(令和6年1月8日)参加者人数

	参加人数・出席率
第1部	443/683人中 出席率 65%
第2部	387/548人中 出席率 71%

⑤ 図書館事業

図書の充実・システム活用などによる図書サービスの向上、ボランティアとの協働による事業実施、学校図書室との連携を行います。

(2)『学びの成果を還元する仕組みの充実』

放課後子ども教室で地域ボランティアである各指導員の経験や知識を活かした、学びの成果を還元できるような活動の場を提供していきます。

活動に当たり、指導内容の充実や指導員同士の情報交換を図るため、研修会を実施しています。

(3)『社会教育施設の整備・充実』

老朽化が著しい上福岡西公民館と併設の上福岡図書館分室を大規模改修し、市民の学び・文化創造・地域コミュニティを育む複合的な生涯学習の場として、図書館分室を併設した文化施設にリニューアルします。(令和7年秋期着工予定)

上福岡図書館は、設備の老朽化に伴い、令和5年11月から大規模改修工事を行っています。(令和7年2月再開予定)

旧大井図書館・郷土資料館建物の大規模改修工事設計業務及び展示設計業務に着手し、歴史民俗資料館と大井郷土資料館を統合し、ふじみ野市の歴史と文化を総合的に学べる場として令和8年9月の開館を目指して整備を進めます。

(4)『地域の歴史文化の継承と文化財の保存と活用』

市民に芸術文化に触れる機会を提供し文化意識の向上を図るとともに、文化財の保護や活用に取り組めます。

(地域の歴史文化の継承)

福岡河岸記念館の公開、管理運営事業

新河岸川舟運で栄えた回漕問屋(船問屋)「福田屋」に残る明治時代の建物を、市指定文化財及び埼玉県景観重要建造物として永く保存していくために、平成29年度に三階建て離れと管理棟の改修工事を行いました。今年度も通常の公開と三階建て離れの二階と三階、主屋二階の特別公開を実施します。また、特別講演として古典芸能の講演や子供・大人対象の体験学習などを実施していく予定です。



令和6年3月 特別講座
「古民家で聞く落語 立川志の太郎」



令和6年1月
フォト・絵画コンテスト展示風景

無形民俗文化財囃子の保存

市内には、大井はやし、大井旭はやし、苗間はやし、亀久保はやしなどの民俗芸能保持団体が保存会として活動しています。はやしは、地域の伝統、文化、歴史、特色を示す貴重な無形民俗文化財であり、このような団体がはやしを続けていくための活動経費の一部を支援するとともに、後世に伝えるための方策について検討していきます。



亀久保はやし

権現山古墳群の管理及び一般公開

県内最古に属する古墳群である権現山古墳群史跡の森を気持ちよく散策していただくため、定期清掃のほか、随時、折れ枝の剪定等を行っています。

令和5年度は、昨年度に引き続き「ナラ枯れ」の被害が確認されたため、令和6年1月31日から閉鎖して被害木の伐採を実施しました。また、園路の木柵、木製ベンチ、解説板の修繕も行いました。

毎年、小学生向けに「夏休み権現山探検」を開催し、自然観察や地層などをテーマに学習講座を開催しています。一般向けには年に1回権現山周辺の観察会を開催しています。



令和5年8月2日 権現山古墳群の見学
(権現山探検「土の中のいきものをさがそう」)

収蔵資料整理事業

ふじみ野市の歴史や生活の移り変わりなどを明らかにし、後世に伝えていくために、継続的に資料を収集し、永く保存していきます。収蔵資料の増加に対応していくため、従来の紙ベースによる台帳から、資料の情報について修正等を簡易にし、迅速な検索と活用が図れるようデータベース化を進め、資料管理の能率化を目指していきます。



北野遺跡第61地点 発掘調査(堀跡)

埋蔵文化財調査事業

市内には、約2万7千年前の旧石器時代から縄文・弥生・古墳・奈良・平安時代・中近世の遺跡が45カ所存在します。各種開発事業に対処して、遺跡の有無を確認する試掘調査を令和5年度には33件行いました。さらに先人の残した生活の痕跡である貴重な遺跡について保存措置を協議し、保存が不可能な場合には、記録保存の発掘調査(本調査)を行います。令和5年度は4件実施しました。



令和6年2月25日

水引でつくるおひなさま(旧大井村役場)

福岡河岸記念館、旧大井村役場の活用(地方創生拠点整備交付金事業)

文化財建物の保存と安全な活用ができるように、平成28～29年度にかけて、市指定文化財「回漕問屋福田屋」(福岡河岸記念館)及び国登録有形文化財「旧大井村役場」の修繕及び構造強化工事を行いました。文化財活用の一環として、両建物を会場にした体験学習(はたおり・水引・ほうきづくり)等を企画し、令和5年度は、体験学習を7回実施しました。

展示事業

上福岡歴史民俗資料館と大井郷土資料館は、それぞれ地域の歴史・民俗を紹介する資料館として、数多くの郷土の文化遺産を収集・保存するとともに、地域の特性のある資料を展示公開しています。通常公開している常設展示のほかに、これまで収集・調査した様々な資料を公開する機会としてテーマや期間を決めた展示会も随時開催します。

今年度は、大井郷土資料館の特別展をはじめ、上福岡歴史民俗資料館・大井郷土資料館の企画展戦争関連の展示や最新出土品展、季節展示・ミニ展示などを実施します。



特別展「徳川家康がやってきた～ふじみ野の江戸時代のはじまり」
(ふじみ野ステラ・ウェスト)



企画展「戦時の通信 戦時の手紙」
(上福岡歴史民俗資料館)

教育普及事業

市域及びその周辺地域の歴史・民俗・考古などの文化財に関する学習講座・古文書講座・体験学習などを定期的で開催し、郷土を学ぶ機会とします。

さらに、両資料館を会場に「企画展示&体験学習 昔のくらしと昔の学校」を開催し、小学校学習指導要領にもとづき、昔のくらしや道具について体験学習をおこなっています。出前授業や卒業制作への協力、昔遊び体験など学校教育との連携も積極的に推進しています。



令和6年2月 小学校3年生社会科体験学習「昔の学校」
(大井郷土資料館)



令和6年3月 「ダンボールをつかったはたおり」
※資料館友の会機織り部会協力
(上福岡歴史民俗資料館)

やさしい日本語でめぐるまちさんぽツアー事業

令和4年度に、ふじみ野市の歴史や文化財、観光などについて、より多くの人に伝えるため、在住外国人や子ども、障がい者にも伝わりやすい「やさしい日本語」でまちさんぽを行うツアーガイド養成講座を実施しました。令和5年度はまちさんぽツアー2回、研修会1回、にほんごカフェ1回を開催しました。

令和6年4月27日には「まちさんぽをしますーこいのぼり・駄菓子・あそびー」を実施し、在住外国人計14人の参加がありました。なお、令和6年度も年2回のまちさんぽツアー、月1回程度のにほんごカフェの企画・運営を予定しています。



文化財展示室

上福岡歴史民俗資料館や大井郷土資料館などで収集・保存してきた貴重な文化財である歴史資料を活用して、ふじみ野市、学校、地域住民が協働しながら、郷土ふじみ野を理解し郷土を愛する市民の育成をはかるため、市内の小中学校に文化財展示室を設置し活用する事業を平成28年度より実施してきました。設置後は児童や教師が広く学習の場として活用するだけでなく、将来的には一般市民への公開・活用も視野に進めています。

令和3年度までにさぎの森小、東台小、西原小、福岡中に設置し、令和5年7月に駒西小の設置を完了しました。12月からは、さぎの森小の展示室の復旧をボランティアと協力し実施しました。



さぎの森小学校文化財展示室復旧作業



令和5年2月 小3体験学習での利用
西原小学校文化財展示室



駒西小学校文化財展示室農事暦コーナー



福岡中学校文化財展示コーナー

ふじみ野市の指定・登録文化財一覧

1 埼玉県指定文化財

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
1	武蔵野台地北部の畑作用具	大井郷土資料館	平成6年3月16日	民俗文化財	有形民俗	434点
2	権 現 山 古 墳 群	滝一丁目	平成14年3月22日	記念物	史跡	古墳時代初期 6基 他に土師器7点

2 ふじみ野市指定文化財

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
1	権 現 山	滝一丁目	昭和38年9月3日	記念物	史跡	1ヶ所
2	阿 弥 陀 一 尊 図 像 板 碑	川崎二丁目 阿弥陀堂	昭和38年9月3日	有形文化財	考古資料	鎌倉時代 1基
3	絵 馬	長宮二丁目 長宮氷川神社	昭和45年5月1日	民俗文化財	有形民俗	貞享～元禄期 3点
4	三 福 学 校 印	上福岡歴史民俗資料館	昭和45年5月20日	有形文化財	歴史資料	明治11年 2点
5	釈 迦 如 来 像	中丸一丁目 釈迦堂	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	江戸初期 1躯
6	薬 師 如 来 像	仲三丁目 薬王寺	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	鎌倉期か 1躯
7	阿 弥 陀 如 来 像	駒林 安楽寺	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	桃山期 1躯
8	地 蔵 尊 坐 像	駒林 地藏堂	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	室町期 1躯
9	鉄 造 阿 弥 陀 如 来 像	滝三丁目 西養寺	昭和48年4月1日	有形文化財	彫刻	江戸初期 1躯
10	川崎遺跡古墳時代住居跡	川崎176	昭和50年5月1日	記念物	史跡	古墳前期 1ヶ所
11	市 内 最 古 の 板 碑	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	考古資料	正元元年 1基
12	柳 川 家 文 書	個人蔵	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	1102 点
13	星 野 家 文 書	個人蔵	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	505 点
14	吉 野 屋 文 書	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	456 点
15	早 船 屋 文 書	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	339 点
16	行 政 文 書	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	1191 点
17	船 大 工 道 具 一 式	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	民俗文化財	有形民俗	83 点
18	大 杉 神 社 奉 納 額	福岡 大杉神社	昭和52年4月1日	民俗文化財	有形民俗	1点
19	吉 良 氏 印 判 状 北条長綱名主職補任状	個人蔵	昭和53年4月1日	有形文化財	古文書	戦国時代 2点
20	北 条 長 綱 印 判 状 3 点 北 条 氏 定 書 北 条 氏 印 判 状	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	古文書	戦国時代 5点
21	太 政 官 布 告 の 高 札	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	古文書	慶応4年 4点
22	板 石 塔 婆 弘 安 4 年 11 月 銘	大井 徳性寺	昭和53年4月1日	有形文化財	考古資料	弘安4年 1基

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
23	板 石 塔 婆 天文23年9月4日銘	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	考古資料	天文23年 1基
24	旭 鬘 の 額	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	歴史資料	明治19年 1点
25	鬼 瓦	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	歴史資料	1点
26	絵 馬	亀久保二丁目 亀久保神明神社	昭和53年4月1日	有形文化財	絵画	宝暦8年他 3点
27	苗 間 は や し	苗間囃子保存会	昭和53年4月1日	民俗文化財	無形民俗	
28	大 井 は や し	大井上細囃子保存会	昭和53年4月1日	民俗文化財	無形民俗	
29	し だ れ 桜	亀久保三丁目 地藏院	昭和53年4月1日	記念物	天然記念物	1点
30	け や き	苗間 苗間神明神社	昭和53年4月1日	記念物	天然記念物	1点
31	大 井 旭 は や し	大井旭囃子保存会	昭和54年4月1日	民俗文化財	無形民俗	
32	注 口 土 器	上福岡歴史民俗資料館	昭和62年3月24日	有形文化財	考古資料	縄文中期 1点
33	は そう 形 須 恵 器	上福岡歴史民俗資料館	昭和62年3月24日	有形文化財	考古資料	古墳中期 1点
34	武州高麗之郡下仙波之内 大井郷田畑水帳 武蔵国高麗郡下仙波之内 大井郷水帳一・二・三 地 租 改 正 用 留	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	古文書	江戸中期 5点
35	十 三 仏 掛 軸	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	歴史資料	江戸時代 2幅
36	阿弥陀如来立像両脇侍	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	歴史資料	江戸時代 3軀
37	亀居遺跡出土深鉢形土器	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	考古資料	縄文中期前半 3点
38	回 漕 問 屋 福 田 屋	福岡河岸記念館	平成元年11月2日	有形文化財	建造物	明治初期～中期 4棟
39	福 田 屋 文 書	上福岡歴史民俗資料館	平成4年2月21日	有形文化財	古文書	近世～近代 2684点
40	回漕問屋福田屋の帳場道具一式	上福岡歴史民俗資料館 福岡河岸記念館	平成4年2月21日	民俗文化財	有形民俗	104点
41	福 岡 村 戸 長 役 場 資 料	上福岡歴史民俗資料館	平成4年2月21日	有形文化財	歴史資料	明治15年～22年 3点
42	苗 間 神 明 神 社 の 常 夜 燈	苗間 苗間神明神社	平成6年9月1日	有形文化財	建造物	明治初期 1基
43	大 井 宿 本 陣 文 書	大井郷土資料館	平成6年9月1日	有形文化財	古文書	江戸～明治期 2311点
44	角 の 常 夜 燈	亀久保四丁目	平成6年9月1日	民俗文化財	有形民俗	享和2年 1基
45	元 禄 七 年 奉 納 の 鰯 口	上福岡歴史民俗資料館	平成10年7月23日	有形文化財	歴史資料	1点
46	向 か い 天 狗 図 絵 馬	長宮二丁目 長宮氷川神社	平成13年12月25日	民俗文化財	有形民俗	寛永期 1面
47	三 角 の 浅 間 様 と 富 士 講	亀久保 三角浅間神社	平成15年11月26日	民俗文化財	有形・無形	
48	平 野 家 住 宅	大井武蔵野	平成15年11月26日	有形文化財	建造物	1棟

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
49	浄禅寺跡遺跡出土の礫石経	ふじみ野市教育委員会	平成15年11月26日	有形文化財	考古資料	元禄9～15年1括
50	竹親庭（三上家庭園）	個人宅	平成15年11月26日	記念物	名勝	明治中期
51	市澤の観音講行事用具	大井郷土資料館	平成19年10月26日	民俗文化財	有形民俗	江戸～昭和48点
52	亀久保はやし	亀久保囃子保存会	平成27年2月16日	民俗文化財	無形民俗	
53	駒林・鈴木家文書	上福岡歴史民俗資料館	平成28年2月16日	有形文化財	古文書	江戸～昭和619点
54	中福岡・富田家文書	上福岡歴史民俗資料館	平成28年2月16日	有形文化財	古文書	江戸～昭和575点
55	川崎・日出間家文書	上福岡歴史民俗資料館	平成28年2月16日	有形文化財	古文書	江戸～昭和458点
56	ハケ遺跡古墳群1号墳出土埴輪	上福岡歴史民俗資料館	平成31年1月23日	有形文化財	考古資料	人物埴輪7点

3 国登録有形文化財

	名 称	所在地・管理者	登録年月日	種別	種類	備考
1	回漕問屋吉野屋土蔵	福岡三丁目 (河岸記念館駐車場隣)	平成10年9月25日	有形文化財	建造物	明治中期 1棟
2	旧大井村役場	苗間(大井小学校隣)	平成14年2月14日	有形文化財	建造物	昭和12年 1棟



埼玉県指定史跡 権現山古墳群



国登録有形文化財 旧大井村役場



(5)『文化活動の推進』

① 社会教育関係団体育成事業

市民の芸術文化活動を活性化し、広めていくため、文化団体などへの支援を行います。

② 地域文化振興事業

身近な場所で気軽に文化や芸術に親しむことができるように、新春落語会、舞台芸術鑑賞会、大井寄席、囲碁将棋オセロ大会などを開催しています。

(6)『スポーツの推進』【市長部局の施策】

地域スポーツやレクリエーションの充実を総合的かつ計画的に図ります。また、市民が地域において日常的にスポーツ活動に取り組むことができる環境づくりを推進します。

(7)『人権教育の推進』

人権についての理解を深めるため、わかりやすい啓発活動に努め、差別や偏見のないまちづくりを進めます。同和問題をはじめとし現代的な人権侵害にかかわる課題も取り入れながら実施しています。

令和6年度は、7月に「聴覚障がいと聴導犬について知ろう」、10月に「マンガ・絵本・小説から考えるじんけん」をテーマに人権教育研修会を開催します。8月には人権教育親子映画会「モアナと伝説の海」、12月には人権週間啓発キャンペーン、2月には人権講演会を予定しています。

(8)『平和事業の推進』

市民との協働企画による平和事業を開催し、多くの市民が平和について学び考える機会として、協働推進課と連携し、実施しています。

令和6年度は、9月28日に「平和祈念フェスティバル 目指そう戦争のない世界ー平和な未来に向けて 今 私たちにできることー」を開催します。内容は、今なお戦争が続くパレスチナの現状、難民問題、支援活動をテーマにした講演会、葦原中学校吹奏楽部によるコンサートを行う予定です。

また、9月9日から20日まで大井総合支所にて、24日から27日まで市役所本庁舎にて、認定NPO 法人パレスチナ子どものキャンペーン所有の写真展示を行います。

大井小学校

校長：抜井由美子

教頭：高橋佑一郎



住所：ふじみ野市苗間37

TEL：261-0242

FAX：261-0243

開校：明治7年2月

児童数：403名

〔基本理念〕

「150年目を彩る 絆で育む 瞳が輝く学校」

〔学校教育目標〕

○仲よくする子 ○考える子 ○たくましい子

<特色>

地域協働学校（ASN）と地域学校協働活動の一体的推進をめざし、学校応援団活動の充実と地域学校協働活動推進員を中心に、地域と学校をつなぐ活動を推進しています。

「令和の日本型学校教育」～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学び～の実現に向けて、一人一人が主体的に学習に取り組み、学び合い、高め合う児童を育成する教育活動を目指しています。

本年度、本校は開校150周年を迎えます。さらに30年後の地域を担う子どもたちを育てるために、学校と地域の協働の拠点づくりを進めています。

福岡小学校

校長：鈴木孝雄

教頭：小野亮子



住所：ふじみ野市西原2-6-1

TEL：261-0144

FAX：269-4603

開校：明治11年1月17日

児童数：608名

〔学校教育目標〕

かしこく（知） やさしく（徳） たくましく（体）

〔めざす学校像〕

潤いと勢いのある学校

～ ふるさとに生まれ、ともに未来を拓いて ～

<特色>

1878年（明治11年）三福学校として開設した本校は、今年度で開校147年目を迎えます。

「花とあいさつ福岡小」を合言葉に1年中花が絶えないよう、児童が熱心に世話をしています。また、学校応援団による環境整備など諸活動も盛んです。

今年度も、「学校教育目標」を達成するため、学校運営協議会を核に、地域の各機関と連携した教育活動を進めています。

学校研究は、『自ら考え、学び合い、ともに伸びる児童の育成～わかる・できる喜びを感じられる授業づくりを目指して～』の主題のもと、学ぶ意欲を持ち、主体的に課題解決に取り組む児童の育成を目指した算数科の研究に取り組んでいます。

駒西小学校

校長：宮下 宏 樹
教頭：福田 由美子



住 所：ふじみ野市駒西3-6-1
TEL：261-5915
FAX：266-2753
開 校：昭和42年4月1日
児童数：456名

〔目指す学校像〕

「学びをつくり、ともに未来を拓く学校」

〔学校教育目標〕

- 心豊かな子 （徳）「やさしさいっぱい」
- 健康な子 （体）「げんきいっぱい」
- 考える子 （知）「やるきいっぱい」

〔学校経営方針〕

- 人を大切にする教育活動の推進
- 知・徳・体のバランスのとれた教育活動の推進
- 学校組織力の強化

<特色>

本校は、「学びをつくり、ともに未来を拓く学校」として、学校・家庭・地域が一体となって子供達を育む学校づくりを推進しています。

校庭は市内で最も広く緑にあふれ、子供たちがのびのびと学習や運動に取り組んでいます。

本年度は、「伝え合い、学び合う児童の育成」を研究テーマに、タブレットの有効活用と校務DXの推進を目指した教育活動を教職員一丸となって推進しています。

上野台小学校

校長：清水 篤 史
教頭：木村 孝 代



住 所：ふじみ野市福岡1-2-1
TEL：261-1415
FAX：261-0799
開 校：平成14年4月1日
児童数：821名

〔目指す学校像〕

「元気いっぱい 夢いっぱい 笑顔あふれる上野台小」

—学校・家庭・地域との『共育』 地域協働学校の推進—

〔学校教育目標〕 光り輝く子供の育成

- 友だちを大切にする子 （徳）
- 進んで学習する子 （知）
- たくましく鍛える子 （体）

〔学校経営方針〕

- 互いのよさを知り、共に学び合う環境づくり
- 主体的、対話的で、深い学びの実現
- 教職員の高い志と組織力
- 学校・家庭・地域との協働

<特色>

本校はふじみ野市役所に隣接し、発展著しい文教地区にあります。地域協働学校として、学校と保護者、地域に住む方々が、目指す学校像や児童像を共有し、共に力を合わせて子供達を育む『共育』を推進しています。

校内では、各教科等の授業や学校生活の様々な場面におけるタブレット端末の効果的な活用方法について研究しており、個別最適化された学びと協働的な学びの視点を取り入れた授業改善、新たな学びの創造に取り組んでいます。

鶴ヶ丘小学校

校長：秋元 江利子
教頭：津野 孝志



住所：ふじみ野市鶴ヶ岡1-3-1
TEL：262-1008
FAX：262-1524
開校：昭和43年4月1日
児童数：535名

〔学校教育目標〕

○やさしく ○かしこく ○たくましく

〔目指す学校像〕

一人一人の子供のよさや可能性を導く鶴ヶ丘小学校
＜特色＞

本校では、目指す子供像「人を大切にする子」「自ら考え進んで活動する子」「心も体もたくましい子」を実現するために、徳・知・体のバランスのとれた教育課程を実施しています。

今年度より国語科を中心とした児童の学力向上を学校課題研究として設定し、教職員同士の熟議を通して、児童の実態を捉えながら、学びの充実を図っていきます。

また、家庭・地域との連携では、登下校の見守り、読み聞かせ、ミシン、スポーツテスト、町探検、ガーデニング等、様々なボランティア活動に学校応援団として、ご協力をいただいております。昨年度は、児童と家庭・地域が連携しながら、門扉の塗装も行いました。

地域協働学校の取組では、教職員・保護者・地域の方々が一丸となって、目指す学校像の実現に向かい様々な活動を充実させるよう努めています。協議会委員の皆さんで熟議しながら、知恵やアイディアを出し合い、鶴ヶ丘小学区の子供たちのために、教育活動の充実を目指しています。

西小学校

校長：清水 愛子
教頭：山下 貴央



住所：ふじみ野市西2-10-25
TEL：261-1200
FAX：266-2579
開校：昭和44年4月1日
児童数：499名

〔目指す学校像〕

○「未来を主体的に生き抜く力を育む、
感謝・感動・共感にあふれた学校」

〔学校教育目標〕

◎やさしく(徳育) ◎かしこく(知育) ◎たくましく(体育)
＜特色＞

本校は、東武東上線福岡駅西口から徒歩8分、川越市に隣接した、国道254号線の近くに位置する学校です。周囲を住宅街に囲まれ、開校56年目を迎える、伝統ある学校です。

子供たちに自信をつけるために子供たちにとことん寄り添う「子供発・子供着」を学校経営方針として学校教育目標の実現を目指しています。また、学校課題研究では、「自分の思いや考えをもち、豊かに表現する児童の育成」を主題として言語による表現力を高めるための国語科指導法の工夫に取り組んでいます。

保護者・地域の皆様からなる西小応援団は、登校の見守り、読み聞かせ、ミシン指導の補助、トイレや手洗い場等の掃除など、多くのことにご協力いただいております。

地域協働学校では、「子供たちには幸せに生きてほしい。自分以外の人も幸せにしてほしい」という願いをもとに、作成したリーフレットを改めて保護者・地域の皆さんに配付しました。教職員も保護者や地域の皆様とともにこの願いを共有し、目指す学校像の実現に向け、共に汗を流して教育活動に取り組んでいます。

東 原 小 学 校

校 長：鈴 木 達 也

教 頭：齋 藤 範 之



住 所：ふじみ野市大井2-9-1

TEL：264-8519

FAX：264-8563

開 校：昭和49年4月1日

児童数：584名

〔学校教育目標〕

- なかよく - 認め合い 助け合う子 -
- かしこく - 自ら考え 判断し 伝える子 -
- たくましく - 健康で ねばり強い子 -

〔目指す学校像〕

「子どもたちが活き活きと輝き、子どもが通いたい、保護者・地域の方が足を運びたいと思う学校」

- 一人一人が活き活き輝く学校
- あいさつと前向きな言葉が響き合う学校
- 安全・安心で美しい学校
- 保護者・地域の期待に応える信頼される学校

〔目指す教職員像〕

「情熱にあふれ魅力ある教職員」

- 健康で明るく活気に満ちた教職員
- 児童理解に努め、学び続け、高め合う教職員
- 組織を活かし、足並みをそろえ、協力・協働する教職員
- 児童・保護者・学校・地域を大切にする教職員

〔学校経営方針〕

☆学校と地域の協働による社会に開かれた教育課程の編成と実践

- ①統合後の環境への適応、②自尊感情を高める教育の推進、③学力向上のための授業改善、④学校研究成果の実践・充実、⑤積極的な生徒指導・教育相談、⑥学び環境の整備・充実、⑦地域協働学校活動の推進

西 原 小 学 校

校 長：村 越 澄 子

教 頭：天 城 学



住 所：ふじみ野市大井武蔵野1322-4

TEL：264-5404

FAX：264-5433

開 校：昭和50年4月1日

児童数：224名

〔学校教育目標〕

かしこく(知) なかよく(徳) げんきよく(体)
～確かな学力 豊かな心 すこやかな体を育む西原小学校～

〔学校経営方針〕

めざす学校像

ひとみかがやく、あったかな西原小学校

○子供たちの「ひとみかがやく」姿とは・・・

「主体的に活動する」、「仲間とともに活動する」、
「夢や目標をもてる」

めざす教師像 「愛情をそそぎ続ける教師」

- ① 愛情をそそぎ、人間性豊かな教師
 - ・自尊感情・自己肯定感を高める 認め、励まし、ほめる
- ② 子供のために学び続け、自らも成長する教師
 - ・優れた授業実践のために学ぶ
 - ・優れた手本となるために学ぶ
- ③ 教職員と共通行動し、家庭地域と協働する教師
 - ・課題の共有化ができる 家庭や地域の課題に寄り添う

めざす授業像「すべての子供が精一杯の力を出せる授業」

- ①学習規律が確立され、学習環境が整備された授業
- ②子供の実態に即した教材研究の下、展開される授業
- ③「教えこぼし」「伸ばしそこね」のない個に応じた授業

元 福 小 学 校

校 長：木 内 芳 仁

教 頭：高 田 弘 子



住 所：ふじみ野市元福岡3-15-2

TEL：264-5402

FAX：266-2796

開 校：昭和50年4月1日

児童数：272名

〔学校教育目標〕

○かしこく ○なかよく ○たくましく

〔学校経営の基本方針〕

「よさを認め、褒めて伸ばす」

<特色>

本校では、「子どもの瞳が輝く学校へ」を合言葉に、子ども達にできた喜びや達成感を味わわせることを大切にしています。子ども達のよさを認め、励ます言葉があれば、子ども達の瞳はますます輝くことと考えます。

そこで、地域協働学校としてさまざまな教育活動を通して、教師や保護者、地域の方々からの温かい励ましにより、「自ら学ぶ子ども、自分のことが好きになり自信を持って生活できる子ども」の育成を図ってまいります。

また、学校課題研究では、タブレット端末の活用方法と効果的な指導方法に取り組んでいます。互いのよさを学び合い、高め合う教育活動を進め、笑顔があふれる元福小学校の創造に取り組んでまいります。

亀 久 保 小 学 校

校 長：熊 谷 千佳子

教 頭：小 川 大 輔



住 所：ふじみ野市ふじみ野2-22-1

TEL：263-7533

FAX：263-7583

開 校：昭和52年4月1日

児童数：583名

〔学校教育目標〕ともにのびる子

〇ともに学び合う子（知） 〇ともに思い合う子（徳） 〇ともに高め合う子（体）

〔学校経営方針〕

目指す学校・地域像

笑顔でつながり共に学び合う学校

～夢と自信と誇りを育てる「共育」を通して～

目指す児童像

世界のどこに暮らしても そのまちのよきまちづくり人となる 亀久保の子

〇子どもたちが笑顔でつながり、互いに認め合い共に学び合う。

〇子どもたちが憧れる大人と出会い触れ合い学び合う。

〇地域の良さを継承してきた方々への畏敬の念（誇り）が育つ。

〇子供たちのひたむきさから、大人も夢と自信と誇りを再認識する

<特色>

本校は、あった会議（学校運営協議会）や、あったか団（学校応援団）を中心に、保護者・地域と協働して、地域とともにある学校運営を推進しています。その強みを生かし「笑顔でつながる」を大切にした教育活動を進めます。

【あったかな地域協働の合言葉】

子供も大人も…一人一人を大切にします

か 考えること挑戦することを楽しむ

め 目指すものに向かって前進する

く 工夫してより良くしようと頑張る

ぼ ボランティア精神で人のためにも動く

三角 小 学 校

校 長：湯 本 貴 幸

教 頭：佐 藤 道 太



住 所：ふじみ野市亀久保1709-1

TEL：264-5001

FAX：264-5018

開 校：昭和53年4月1日

児童数：511名

〔学校教育目標〕

－ ゆめのある子 －

○かしこい子 ○やさしい子 ○たくましい子

<特色>

本校は、「子供が生き生きと活動し、保護者・地域から信頼され共に歩み続ける学校」を目指しています。「多目的トライルーム」（地域協働学校の取組）を拠点に学校・保護者・地域が子供たちのために力を結集して様々な教育活動を展開しています。

本年度は、「主体的に学びをデザインする児童の育成」（ICTの効果的活用）を研究主題として、児童自ら学習方法を選択して自己決定することを中心に、ICTを使うことの良さや不具合について、感じ取れる授業展開について、研究しています。今年度も「明るいあいさつ笑顔あふれる三角小学校」を合言葉に教職員一丸となり教育活動に取り組んでまいります。

さ ぎ の 森 小 学 校

校 長：星 野 和 久

教 頭：國 井 創



住 所：ふじみ野市駒林28

TEL：263-2260

FAX：266-2983

開 校：昭和56年4月1日

児童数：370名

〔学校教育目標〕

○心豊かな子(徳育)

○体をきたえる子(体育)

○学び合う子(知育)

<特色>

開校44年目を迎え、「子どもが通いたい、保護者・地域が通わせたいと思うあったかな学校」を目指しています。本校の教育活動の特色の一つとして、1年生から6年生までの異年齢集団による日常の清掃、「さぎ小フェスティバル」や業前のたてわり遊びの取組があります。活動を通して児童の主体性、思いやり、協調性、高学年のリーダー性を育成し、よき校風・伝統となっています。また、ビオトープ「七色川」のある自然豊かな環境にも恵まれています。

さらに、学校運営協議会や学校応援団の地域・保護者の温かいご支援のもと、学校ファームでの農作物栽培、蒔玉づくり体験教室、図工や家庭科の学習支援など、教育活動が充実しています。

「さぎの森小の良さの継承と更なる充実」をコンセプトとし、保護者や地域から信頼される学校づくりを目指して教職員一丸となって取り組んでいます。

東 台 小 学 校

校 長：大 庭 真紀子

教 頭：前 野 順 子



住 所：ふじみ野市大井710-1

TEL：269-6232

FAX：269-6234

開 校：平成21年4月1日

児童数：106名

〔学校教育目標〕 心も体も健やかな子

○なかよく ○かしこく ○げんきよく

<特色>

本校は、ユニバーサルデザインを活かした校舎や
広々としたオープンスペース型教室、太陽光発電など
環境に配慮しながら、児童一人一人の居場所と学びを
大切にした教育活動を推進しています。

今年度は、令和7年4月の統合に向け、『保護者・地
域とともに 歴史を刻む LAST YEAR』をスローガンに、
学校運営協議会（ドリーム会議）や学校ボランティアな
ど学校応援団を中心とした方々と協働しながらたくま
しく生き抜く子どもたちを育て、「共に学び、共に成長
する学校」の完成形を目指します。

学校研究は、「子どもたちの思いを生かした円滑な統
合の推進」をテーマに、子どもたちの心に残る母校とし
ての思い出づくりや東原小学校との交流授業など子ど
もたちに寄り添った統合の在り方について、地域協働
学校として一丸となり、研究してまいります。



中学校

(生徒数については、令和6年5月1日現在)

大井中学校

校長：本川 秀知

教頭：椎名 広貴



住所：ふじみ野市苗間24-1

TEL：261-0005

FAX：261-0691

開校：昭和22年4月1日

生徒数：558名

〔学校教育目標〕

「心豊かでたくましい生徒」

校訓 「誠実」「勤勉」「協同」

昭和22年(1947年)に開校し、78年目を迎えた保護者、地域とのつながりが強く感じられる地域に根ざした歴史と伝統のある学校です。

人が大切にされ、一人一人の居場所がある学校づくりを通して、持続可能な社会の創り手となる人材を育成することを教育理念としています。

令和6年度の指導の重点は、①特別活動の充実とGIGA スクール構想の実現による総合的な学力向上の推進、②地域・小中連携の推進、③いじめ見逃しゼロ、④特別支援教育の充実、⑤学校事故防止と安全対策の徹底、⑥効果的な学校評価による学校経営の推進です。

「生徒、保護者・地域の皆様、教職員すべてが大切にされ、一人一人の居場所がある学校」づくりに向けて、教職員が一丸となり教育活動に取り組んでいます。

福岡中学校

校長：永易 淳史

教頭：和田 澄子



住所：ふじみ野市上野台3-3-1

TEL：261-0142

FAX：266-3106

開校：昭和22年4月1日

生徒数：668名

〔学校教育目標〕

自ら生きる力を培う生徒

徳【友愛】 思いやりのある生徒

智【自学】 自ら学び、自ら考える生徒

体【強健】 心身ともにたくましい生徒

<特色>

本校はふじみ野市の中心部に位置し、開校78年目を迎えています。明るい校舎に、散在する松の木が歴史を感じさせています。

校訓「ともに学ばん ともに励まん ともに磨かん」に基づき、「生徒の笑顔にあふれ、だれもが集う学校」を目指す学校像として日々の教育活動に取り組んでいます。一人一人の生徒に確かな学力を育成するために、ICTを効果的に活用する等、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくりをしています。また、生徒に寄り添う生徒指導・生徒が主役の学校行事づくりをしています。学校運営協議会を中心に、学校・家庭・地域の連携を一層推進し、勉学や部活動に励む生徒の育成に取り組んでいます。

葦原中学校

校長：山崎 祐一

教頭：恩田 ルイ



住所：ふじみ野市川崎310

TEL：262-5433

FAX：269-4605

開校：昭和46年4月1日

生徒数：318名

〔学校教育目標〕

「知・徳・体のバランスのとれた

「生きる力」を持った生徒の育成」

◎葦原中学校が大好きという思いを持つ生徒

◎あいさつが自然と言葉と態度のできる生徒

◎自分がされて嬉しいことを他にもできる生徒

◎目標に向かってがんばる生徒

〔目指す学校像〕

時を守り・場を清め・礼を尽くす温かな葦原中学校

①誠実な学校 ②笑顔のある学校 ③調和のある学校

<特色>

本校では、①授業の充実 ②学級・学年経営の充実 ③職員室環境の充実 ④安全安心の充実 に重点を置き学校づくりを推進しています。そのために、「助け合い・支えあいの輪が広がる葦原中づくり」をしています。

54期生徒会スローガンは「開花」です。「①個人、②仲間、③学習、④地域」の4つの観点から、よりよい葦原中を実現するという思いがこめられています。

花の木中学校

校長：栗田 大悟

教頭：町田 博之



住所：ふじみ野市中福岡213-1

TEL：264-5400

FAX：266-3246

開校：昭和50年4月1日

生徒数：475名

〔教育目標〕

「自ら学ぶ心豊かでたくましい生徒の育成」

○自ら学び、自ら課題を解決する生徒 (知)

○豊かな心を育む生徒 (徳)

○進んで身体を鍛える生徒 (体)

〔目指す学校像〕

「花いっぱい 笑顔があふれ

自分も仲間もすきになる 花の木中学校」

<特色>

本校では、「認め、励まし、伸ばす」という視点をもって、生徒一人一人を大切にした教育を推進するとともに、家庭や地域との絆を深めながら、地域協働学校の取組を進めています。

本年度の重点として、①ICTを効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」への授業改善、②生徒と教師の信頼関係を土台とする「豊かな心」の育成、③「自分の身体や体力への関心」を高め、「体を鍛え、最後まで頑張る子」の育成、に取り組んでいます。

大井西中学校

校長：榎本 崇
教頭：高橋 伸行



住 所：ふじみ野市大井武蔵野408-1
TEL：264-1030
FAX：264-1042
開 校：昭和51年4月1日
生徒数：323名

〔学校教育目標〕

◎優しく、賢く、逞しく ～今が大切～

<特色>

本校は令和元年度より「地域協働学校」として「生徒・保護者・地域・学校・市行政」の連携により様々な教育活動に取り組んでいます。

「自律・自立・共生・共創の精神を育む、感謝・感動・共感にあふれた学校」を目指す学校像に掲げ、地域の方々とよりよい信頼関係を育み、生徒の健全育成を図っています。本校の生徒は、「S級のあいさつ」や「JRC（青少年赤十字）活動」による福祉・ボランティア教育に進んで取り組んでいます。

むさしの桔梗会議（大井西中学校 学校運営協議会）において、学校課題の解決に向けた様々なご意見やご提言をいただいています。

今年度は、学校の教育活動全般において活動規制が無く、より生徒が主体的に取り組めるような教育活動を推進することができてきています。

「大井西中学校が大好き」という生徒の育成を目指します。

大井東中学校

校長：今 伊 大
教頭：鈴木 健太郎



住 所：ふじみ野市ふじみ野3-2-1
TEL：263-5181
FAX：263-5182
開 校：昭和56年4月1日
生徒数：595名

〔学校教育目標〕

- 1 豊かな心（徳）
- 2 学ぶ力（知）
- 3 健全な身体（体）

<特色>

「地域協働学校」として、「全教職員の叡智を結集し、保護者や地域の皆様とともに創造的で魅力ある学校づくり」を基本理念とし、学校教育目標である「豊かな心（徳）」「学ぶ力（知）」「健全な身体（体）」の育成に取り組んでいます。学校運営協議会が中心となり、町会や生徒会と共に、様々な活動を計画し、実施しています。

本校の自慢は、生徒のていねいでさわやかなあいさつと、学校を包むように一年中咲き誇っている花です。学校行事や生徒会活動では生徒の主体的な活動が軸となっています。

第43期生徒会スローガンは「勇往邁進」です。「over the possibility」という意味が込められています。「愛掬で心通じ合う東中」「地域を明るくする東中」「誰もが意見を発信できる東中」を目指して、活動しています。

～ 児童・生徒数の推移 ～

◎ 小学校

(各年度5月1日現在)

No	学 校 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	大井小学校	448	445	431	422	403
2	福岡小学校	618	603	633	611	608
3	駒西小学校	522	501	499	476	456
4	上野台小学校	758	829	830	844	821
5	鶴ヶ丘小学校	591	592	574	558	535
6	西小学校	532	524	507	507	499
7	東原小学校	562	557	568	578	584
8	西原小学校	188	207	216	219	224
9	元福小学校	231	232	234	246	272
10	亀久保小学校	568	596	613	603	583
11	三角小学校	525	543	547	525	511
12	さぎの森小学校	397	413	403	379	370
13	東台小学校	147	137	126	116	106
	合 計	6,087	6,179	6,181	6,084	5,972

◎ 中学校

No	学 校 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	大井中学校	601	585	603	575	558
2	福岡中学校	580	612	617	642	668
3	葦原中学校	367	356	344	324	318
4	花の木中学校	435	460	448	493	475
5	大井西中学校	291	297	309	299	323
6	大井東中学校	591	557	549	557	595
	合 計	2,865	2,867	2,870	2,890	2,937

1 図 書 館

市民の「知りたい、学びたい、楽しみたい」に役立つ情報拠点を目指して、図書の貸出やインターネット検索、パソコンの貸出などを行っています。テーマ展示やビジネス支援コーナーを開設するなど生活に役立つ情報を提供するとともに、下記表内の事業を実施しています。

○ 上福岡図書館

所在地	ふじみ野市上野台 3-3-1	
開設年月日	平成6年4月1日	
TEL	262-3710	
FAX	262-8151	
開館時間	午前9時～午後8時	
休館日	第3月曜日(祝日の場合は、その翌日)・年末年始(12月29日～1月4日) 特別整理期間(年15日以内)	
蔵書冊数	390,731冊 (令和6年3月31日現在)	
貸出総数	395,292冊 (令和6年3月31日現在)	
利用方法	利用カード交付申請書を記入し、住所の確認できるもの(保険証・運転免許証・学生証など)を持ってカウンター窓口にお越しください。 集会室・視聴覚ホールは公共施設予約システムの利用者登録をし、インターネット及び専用端末から利用の予約をします。詳しくは市HPの利用者ガイドとふじみ野市立図書館のHPの利用案内をご覧ください。	
施設概要		実施事業
<1階>		・学校図書館支援事業
・一般書コーナー・児童書コーナー		・読み聞かせ講座
・おはなしのへや・ティーンエイジコーナー		・子ども司書講座
・新聞雑誌コーナー・調べものコーナー		・移動図書館サービス
・視聴覚コーナー・くつろぎコーナー		・調べる学習コンクール
・展示コーナー・予約本受取コーナー		・学校への団体貸出
・サービスカウンター		・レファレンスサービス
・グループ学習室・対面朗読室		・障がい者サービス
・事務室・授乳室		・ブックスタート事業
<2階>		・利用者向け託児サービス(図書館育児アドバイザー)
・集会室1・集会室2・視聴覚ホール		・テーマ展示
<地階>		・生涯学習講座
・書庫		・ボランティアとの協働事業(おはなし会)
		・ボランティア育成講座
		・地域資料、郷土資料の収集・整備
		・図書館まつり
		・大人のための朗読会
		・人権関連図書の展示
		・戦争・平和関係図書の展示

○ 大井図書館

所在地	ふじみ野市大井中央2-1-8 「ふじみ野ステラ・ウェスト」内		
開設年月日	令和5年11月4日		
TEL	263-1100		
FAX	263-3091		
開館時間	午前9時～午後8時(予約本受取 コーナーは午後10時まで)		
休館日	第2月曜日(祝日の場合は、その 翌日)・年末年始(12月29日～ 1月4日) 特別整理期間(年15日以内)		
蔵書冊数	179,867冊 (令和6年3月31日現在)		
貸出総数	294,726冊 (令和6年3月31日現在)		
利用方法	利用カード交付申請書を記入し、住所の確認できるもの(保険証・運転免許証・学生証など)を持ってカウンター窓口にお越しください。		
施設概要			実施事業
<1階> ・図書館カウンター(図書館総合案内) ・予約本受取コーナー・雑誌 ・自動返却機 <2階> ・一般書(文庫本・小説) <3階> ・こどもカウンター・おはなしのへや ・こどものほん・読み聞かせ本・大型本 ・ティーン <4階> ・しらべものカウンター ・視聴覚(CD、DVD、カセットテープ) ・参考図書 ・一般書(文庫本・小説以外)・郷土資料・新聞 <地階> ・書庫		・学校支援サービス(出張おはなし会、学校訪問) ・読み聞かせ講座(保護者・地域ボランティア) ・学校への団体貸出 ・レファレンスサービス ・障がい者サービス ・ブックスタート事業 ・テーマ展示 ・生涯学習講座 ・地域文庫活動、文庫のつどい ・ボランティアとの協働事業(おはなし会、語りのおはなし会、映画会、工作教室) ・ボランティア育成講座 ・地域資料、郷土資料の収集・整備 ・図書館まつり ・大人のためのおはなし会(語りによる昔話) ・人権関連図書の展示 ・戦争・平和関係図書の展示	

2 公 民 館

市民のだれもが芸術や文化に触れる機会を提供するため、各種教室、講座を開催するとともに、自主的な学習活動を行う団体・サークルに活動の場を提供しています。

○上福岡西公民館

所 在 地	ふじみ野市上福岡 5-2-12		
開設年月日	昭和62年9月16日		
T E L	049-266-9501		
F A X	049-266-9502		
施設概要	ギャラリー、保育室(10名)、美術工芸室(35名)、調理室(40名)、団体連絡室(15名)、第1学習室(16名)、第2学習室(30名)、集会室(80名)、第1和室(20名)、第2和室(30名)、ホール(161名)、ステージ(楽屋を含む)、視聴覚室(20名)		
開館時間	午前9時～午後10時	使用料	有料
休館日	月曜日、12月28日～1月4日		
利用方法	公共施設予約システムの利用者登録をし、インターネット及び専用端末から利用の予約をします。 くわしくは市HPの利用者ガイドをご覧ください。 なお、ホール及びギャラリーの予約は窓口へご相談ください。		
抽選申込み	① 抽選受付期間 …利用月の3カ月前の21日から末日まで ② 抽 選 日 …利用月の2カ月前の1日 ③ 抽選の確認期間…利用月の2カ月前の2日から11日 ※抽選の確認期間中に当日の予約手続きを行わないと、当選が無効になります。		
予約申込み	① 利用月の2カ月前の12日から利用日まで(抽選後、空いている日のみ受付) ② 分室の予約申し込みは、利用日の6日前まで		
実施事業	内 容		
市民文化祭事業	ふじみ野市民文化祭、西公民館まつり		
地域文化振興事業	新春落語会、舞台芸術鑑賞会、大井寄席、地元落語家応援寄席		
高齢者教育事業	昭和100年大学		
青少年教育事業	体験教室、わんぱく教室、ふくっ子クラブ、はとぼっぼ教室、子どもまつり		
成人教育事業	にほんご教室、家庭教育セミナー、障がい者青年学級コスモスくらぶ、人権講座、地域コミュニティ事業、趣味講座		
分 室	所 在 地	施設概要	
分室	新田 1-3-15	洋室(15名)、第1和室(12名)、第2和室(18名)	



3 資 料 館

○ 上福岡歴史民俗資料館

上福岡地域の歴史・民俗を解説した常設展示のほか、随時テーマを設けて、市内外の文化財を展示・紹介する特別展や企画展を実施し、地域の歴史や郷土の文化を学ぶ機会となるよう、地域に根ざした教育普及事業を行っています。また、通年で、市内の歴史・文化を明らかにするため、文化財資料の収集・調査を行い、寄贈資料の台帳登録、収蔵カードの作成等を継続的に進めています。

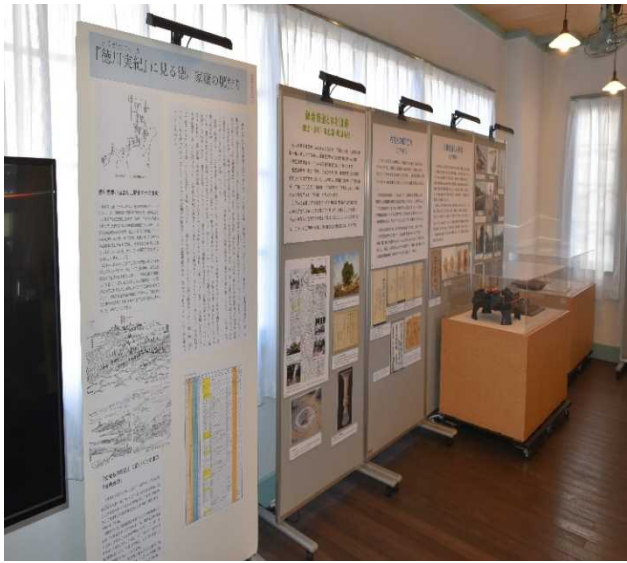
所在地	ふじみ野市長宮1-2-11	
開設年月日	昭和58年11月1日	
TEL	261-6065	
FAX	269-4817	
開館時間	午前9時～午後4時30分	
休館日	・毎週月曜日(祝日にあたる ときも休館) ・年末年始 (12月28日～1月4日)	
入場料	無料	
施設概要 <1階> ・展示ホール・常設展示室・事務室 ・収蔵庫 <2階> ・研修室・小展示ホール・収蔵庫・図書室		実施事業 ・展示事業 常設展示 企画展 「ふじみ野に馬がいた! ?」、「戦時の通信戦時の手紙」、「日本の藍染め、世界の染織(貴州・インドネシア・プラインカ・アフリカ)」、「最新出土品展」「昔のくらしと昔の学校」 特別展 「徳川家康がやって来た」(ステラ・ウエスト会場) ・教育普及事業 郷土の伝承あそび(竹とんぼをつくろう、たこを作って展示しよう) ダンボールをつかったはたおり 大人の藍染め体験教室 ・資料調査・収集・整理事業 ・学校教育との連携(藍染め卒業制作、昔あそび交流会) 小学校3年生対象社会科体験学習など

○ 大井郷土資料館

大井郷土資料館は、郷土大井に暮らした先人たちが、私たちに残してくれた有形・無形の文化財(郷土資料)を、収集・保存・活用することにより、ふるさと「大井」をより深く理解してもらうための社会教育施設として設置されています。

生涯学習の要請が高まるなかで、社会教育のみならず学校教育との連携をも積極的に推進し、郷土ふじみ野に関心をもつ誰もが気軽に利用できる、地域に開かれた郷土資料館を目指しています。

※ 令和 6 年度現在、大井郷土資料館は苗間40-39に収蔵庫、旧大井村役場(苗間34-6)に展示スペース、上福岡歴史民俗資料館(長宮1-2-11)に事務室を一時的に移転しております。

所在地	ふじみ野市苗間 40-39	
開設年月日	昭和63年12月1日	
TEL	263-3111	
開館時間	午前9時～午後4時30分	
休館日	・第2月曜日 ・年末年始 (12月28日～1月4日)	
入館料	無料	
施設概要 ・展示室 旧大井村役場内 (ふじみ野市苗間34-6) ・収蔵庫 大井郷土資料館内 (ふじみ野市苗間40-39) ・事務室 上福岡歴史民俗資料館内 (ふじみ野市長宮1-2-11)		実施事業 ・展示事業 常設展示 旧大井村役場内で公開中 大井郷土資料館特別展、企画展 実施予定 季節展示(天王様・正月飾り・ひな人形など)、ミニ展示 実施予定 ・教育普及事業 古文書講座 藍染め教室ほか ・郷土資料の調査・収集・整理 ・学校教育との連携 小学校3年生社会科体験学習など

○ 福岡河岸記念館

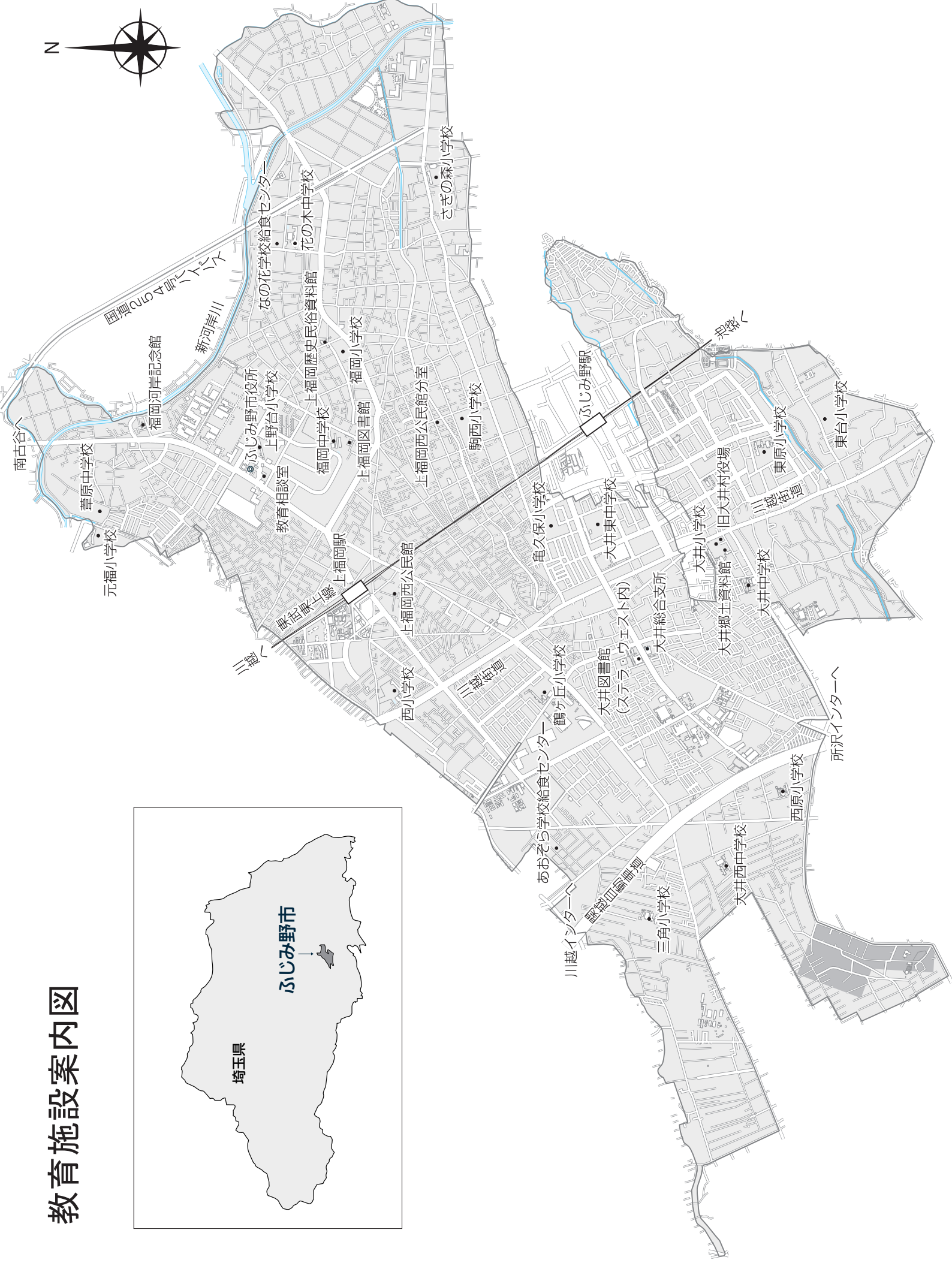
明治時代に建てられた船問屋福田屋の建物(市指定文化財)を公開するとともに、新河岸川舟運や福岡河岸、船問屋の歴史と舟運が繁栄していた当時の暮らしを知ってもらうよう、帳場や台所の再現、新河岸川荷船の船具である帆柱やオカジの展示、解説パネル等の設置をしています。

福岡河岸記念館について、より深く知っていただくよう、「帳場」「神道無念流道場壁書」「文庫蔵」「離れ」「屋敷神」についての展示解説シートを作成し、来館者が自由に持ち帰りできるようにしています。

所在地	ふじみ野市福岡 3-4-2	
開設年月日	平成8年11月3日	
TEL	269-4859	
開館時間	午前 10 時～午後 4 時30分 (5月から9月) 午前 10 時～午後 4 時 (10月から4月)	
休館日	・毎週月曜日 (祝日にあたるときも休館) ・年末年始 (12月 27 日～1 月 4 日)	
入館料	一般・学生 100 円 児童・生徒 50 円 (20 人以上団体割引有り)	
施設概要		実施事業
市指定文化財回漕問屋福田屋		・展示事業
<主屋・台所>		常設展示
・木造2階建 建築面積 185.19 m ²		フォト・絵画コンテスト
延床面積 280.88 m ²		季節展示
<文庫蔵>		・無料公開
・木造2階建 建築面積 50.98 m ²		「国際博物館の日」(5/18)
延床面積 84.10 m ²		「県民の日」(11/14)
<離れ>		・教育普及事業
木造3階建 建築面積 33.95 m ²		特別講座
延床面積 91.91 m ²		「古民家で聞く落語」(6月、10月、3月)
		体験学習(機織り体験)(7月、8 月、9月)
		体験学習(ほうきづくり)(11月)
		・三階建離れの特別公開(全13回)
		・特別出品「旧福田屋の至宝2船津蘭山」
		「龍図」と尾形月耕「七福神」図(12/19～2/18)



教育施設案内図





ふじみ野市の教育 令和6年度版

令和6年9月発行

編集・発行 ふじみ野市教育委員会

〒356-8501

埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1

TEL 049-220-2080

FAX 049-261-9750